

令和 2 年 低層住宅の 労働災害発生状況報告書

令和 3 年 8 月

一般社団法人住宅生産団体連合会

はじめに

(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業 284 社から、災害データ及び関係資料をご提供いただき、令和 2 年の低層住宅の労働災害発生状況を把握することが出来ました。ここにご協力を賜りました関係各位に深く感謝を申し上げます。

令和 2 年の労働災害発生件数は 388 件と昨年比 68 件減となりました。数年来の増加傾向を減少に転じるべく、より効果的な取組をお願い致します。なお、1,000 棟当りの災害発生件数では、新築工事は平成 30 年の 2.42 件から 2.69 件となり、増改築・リフォーム工事と解体工事を加えた全体の災害発生件数も 0.74 件から 0.99 件で増加となっています。

災害の型別発生状況では、「墜転落」によるものが、相変わらず全体の 45.9%を占めています。二番目に多い「切れこすれ」と併せて「転倒」で 26.8%を占めておりエイジフレンドリーな職場づくりが、急務と考えられます。作業では「建方」と「内部造作」で昨年同様全体の 40%を占める結果となっています。職種別にみて「大工」の被災が一番になっている事に繋がっています。住宅建築における貴重な人材の災害を減少させる取組を徹底してください。

一昨年 4 月から、今後の建設業の基盤となる「建設キャリアアップシステム」が本格的に稼働し、就業実績の蓄積を通じて工事の品質向上、現場の効率化を図るとともに、これらの情報を活用した適正な能力評価と処遇の実現に活用されます。

建設業が大きく変わろうとしているこの時期に、昨年から拡大が懸念された新型コロナウイルスによる感染防止のため緊急事態宣言、蔓延防止措置が発出される緊急事態となりました。建設業にとっての本当の困難はこれからとの声が多く上がっています。

当連合会では、「災害ゼロ」「危険ゼロ」「安全先取り」の現場の実現を目指し、特に今年度は職場・現場での働き方を見直し、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用推進による生産性の向上を図る持続的な活動となる様に関係部門と連携し推進して参ります。関係団体ならびに会員各位の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和 3 年 8 月
一般社団法人 住宅生産団体連合会
工事CS・安全委員会

1. 労働災害発生状況の調査について

(一社)住宅生産団体連合会の会員団体である下表団体所属の会員企業に対して、休業4日以上
の労働災害発生状況について、アンケート調査を実施した(『令和2年低層住宅の労働災害発生状況報告書』45～47頁参照)。令和2年のアンケート報告企業総数は284社であり、過去8年間(平成25～令和2年)を含めた団体別報告企業数推移は表1-1の通りである。

表1-1 アンケート報告企業数推移

所属団体	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
プレハブ建築協会	16社	18社	15社	19社	16社	14社	14社	15社
日本ツーバイフォー建築協会	231社	213社	208社	219社	112社	104社	104社	115社
日本木造住宅産業協会	206社	133社	114社	116社	125社	98社	135社	105社
全国住宅産業協会	95社	101社	94社	71社	71社	56社	30社	42社
全国中小建築工事業団体連合会	42社	73社	92社	52社	66社	32社	0社	
JBN全国工務店協会							3社	5社
輸入住宅産業協会	6社	6社	6社	2社	5社	7社	3社	2社
計	596社	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社

団体別、規模別、新築、増改築・リフォーム、解体工事別の労災件数は、表1-2の通りである。

表1-2 アンケート全体 団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上)

休業日数4以上の労災件数	令和2年																		無記入	
	全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
	回答社数	完工棟数	割合%	内訳			災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数		
				新築件数	増改築・リフォーム工事件数	解体工事件数														
	284	390,296	100.0	131,437	250,085	8,774	388	100.0	0.99	354	100.0	2.69	19	100.0	0.08	14	100.0	1.60	1	
団体別	プレハブ建築協会	15	282,133	72.3	54,209	223,343	4,581	165	42.5	0.58	139	39.3	2.56	15	78.9	0.07	11	78.6	2.40	0
	日本ツーバイフォー建築協会	115	34,649	8.9	19,060	14,696	893	51	13.1	1.47	47	13.3	2.47	2	10.5	0.14	2	14.3	2.24	0
	日本木造住宅産業協会	105	58,661	15.0	48,780	6,886	2,995	148	38.1	2.52	145	41.0	2.97	2	10.5	0.29	0	0.0	0.00	1
	全国住宅産業協会	42	11,940	3.1	8,227	3,584	129	19	4.9	1.59	18	5.1	2.19	0	0.0	0.00	1	7.1	7.75	0
	JBN全国工務店協会	5	414	0.1	55	352	7	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	2,499	0.6	1,106	1,224	169	5	1.3	2.00	5	1.4	4.52	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上/年	17	332,894	85.3	92,597	232,946	7,351	269	69.3	0.81	241	68.1	2.60	15	78.9	0.06	13	92.9	1.77	0
	1000～2999棟/年	15	24,929	6.4	18,779	5,933	217	51	13.1	2.05	50	14.1	2.66	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	1
	500～999棟/年	17	11,715	3.0	8,070	3,495	150	23	5.9	1.96	22	6.2	2.73	1	5.3	0.29	0	0.0	0.00	0
	100～499棟/年	66	16,286	4.2	8,810	6,577	899	32	8.2	1.96	28	7.9	3.18	3	15.8	0.46	1	7.1	1.11	0
	50～99棟/年	31	2,196	0.6	1,551	557	88	9	2.3	4.10	9	2.5	5.80	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	138	2,276	0.6	1,630	577	69	4	1.0	1.76	4	1.1	2.45	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組						148	38.1		141	39.8		4	21.1		3	21.4		0	
	ツーバイフォー						69	17.8		69	19.5		0	0.0		0	0.0		0	
	木質プレハブ						45	11.6		44	12.4		0	0.0		1	7.1		0	
	鉄骨在来						2	0.5		1	0.3		0	0.0		1	7.1		0	
	鉄骨プレハブ						115	29.6		93	26.3		14	73.7		8	57.1		0	
	コンクリート在来						3	0.8		2	0.6		0	0.0		1	7.1		0	
	コンクリートプレハブ						4	1.0		4	1.1		0	0.0		0	0.0		0	
	その他						1	0.3		0	0.0		1	5.3		0	0.0		0	
不明						1	0.6		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1		

※(全体の1000棟当たり災害件数) = (全体の労働災害発生件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

※(工事種別の1000棟当たり災害件数) = (各工事の労働災害発生件数) ÷ (各工事の棟数) × 1000

※規模別の規模は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の総和

平成18年調査より各団体の新築完工棟数上位会社（プレハブ建築協会3社、日本ツーバイフォー建築協会3社、日本木造住宅産業協会3社、全国住宅産業協会2社、全国中小建築工事業団体連合会2社（平成30年まで）、JBN2社（令和元年より）、輸入住宅産業協会2社、合計15社）の団体別、規模別、新築、増改築・リフォーム、解体工事別の労災件数の定点観測を行っている。集計結果は、表1-3の通りである。

表1-3 定点観測（団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上）

令和2年

定点観測		令和2年																			無記入
		全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
		回答社数	完工棟数	割合%	内訳			災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数		
					新築件数	増改築・リフォーム工事件数	解体工事														
休業日数4日以上		15	212,656	100.0	62,378	146,388	3,890	190	100.0	0.89	174	100.0	2.79	9	100.0	0.06	6	100.0	1.54	1	
団体別	プレハブ建築協会	3	176,073	82.8	31,895	143,340	838	95	50.0	0.54	82	47.1	2.57	9	100.0	0.06	4	66.7	4.77	0	
	日本ツーバイフォー建築協会	3	6,216	2.9	5,513	0	703	25	13.2	4.02	23	13.2	4.17	0	0.0	0.00	2	33.3	2.84	0	
	日本木造住宅産業協会	3	20,803	9.8	18,604	27	2,172	56	29.5	2.69	55	31.6	2.96	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	1	
	全国住宅産業協会	2	6,960	3.3	5,238	1,721	1	9	4.7	1.29	9	5.2	1.72	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	JBN全国工務店協会	2	105	0.0	22	76	7	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	輸入住宅産業協会	2	2,499	1.2	1,106	1,224	169	5	2.6	2.00	5	2.9	4.52	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
規模別	3000棟以上/年	7	202,927	95.4	55,975	143,367	3,585	160	84.2	0.79	145	83.3	2.59	9	100.0	0.06	6	100.0	1.67	0	
	1000~2999棟/年	5	9,159	4.3	6,044	2,945	170	24	12.6	2.62	23	13.2	3.81	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	1	
	500~999棟/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	100~499棟/年	1	465	0.2	337	0	128	6	3.2	12.90	6	3.4	17.80	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	50~99棟/年	1	61	0.0	8	50	3	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	49棟以下/年	1	44	0.0	14	26	4	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
工法別	木造在来軸組							47	24.7		45	25.9		0	0.0		2	33.3		0	
	ツーバイフォー							42	22.1		42	24.1		0	0.0		0	0.0		0	
	木質プレハブ							21	11.1		20	11.5		0	0.0		1	16.7		0	
	鉄骨在来							1	0.5		0	0.0		0	0.0		1	16.7		0	
	鉄骨プレハブ							76	40.0		67	38.5		8	88.9		1	16.7		0	
	その他							3	1.6		0	0.0		1	11.1		1	16.7		1	

令和元年

定点観測		令和元年																			無記入
		全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
		回答社数	完工棟数	割合%	内訳			災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数		
					新築件数	増改築・リフォーム工事件数	解体工事														
休業日数4日以上		15	236,703	100.0	73,364	159,460	3,789	234	100.0	0.99	218	100.0	2.97	6	100.0	0.04	10	100.0	2.58	0	
団体別	プレハブ建築協会	3	190,073	80.3	37,578	151,390	1,105	128	54.7	0.67	117	53.7	3.11	6	100.0	0.04	5	50.0	4.52	0	
	日本ツーバイフォー建築協会	3	10,519	4.4	6,379	3,223	917	18	7.7	1.71	17	7.8	2.66	0	0.0	0.00	1	10.0	1.09	0	
	日本木造住宅産業協会	3	26,571	11.2	22,970	1,891	1,710	68	29.1	2.56	64	29.4	2.79	0	0.0	0.00	4	40.0	2.34	0	
	全国住宅産業協会	2	7,657	3.2	5,355	2,302	0	16	6.8	2.09	16	7.3	2.99	0	0.0	0.00	0	0.0	-	0	
	JBN全国工務店協会	2	580	0.2	17	558	5	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	輸入住宅産業協会	2	1,303	0.6	1,065	96	142	4	1.7	3.07	4	1.8	3.76	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
規模別	3000棟以上/年	10	232,200	98.1	71,964	156,504	3,732	230	98.3	0.99	214	98.2	2.97	6	100.0	0.04	10	100.0	2.68	0	
	1000~2999棟/年	2	3,641	1.5	1,197	2,302	142	4	1.7	1.10	4	1.8	3.34	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	500~999棟/年	1	543	0.2	16	524	3	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	-	0	
	100~499棟/年	1	282	0.1	186	96	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	
	50~99棟/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	
	49棟以下/年	1	37	0.0	1	34	2	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
工法別	木造在来軸組							56	23.9		51	23.4		0	0.0		5	50.0		0	
	ツーバイフォー							46	19.7		45	20.6		0	0.0		1	10.0		0	
	木質プレハブ							15	6.4		14	6.4		1	16.7		0	0.0		0	
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ							116	49.6		107	49.1		5	83.3		4	40.0		0	
	その他							1	0.4		1	0.5		0	0.0		0	0.0		0	

2. 完工棟数と労働災害発生件数の推移

令和2年の調査概要は、調査企業数 284 社、完工棟数（新築）131,437 棟、（増改築・リフォーム）250,085 棟、（解体）8,774 棟、労働災害件数は 388 件である。（表 2-1 参照）

労働災害発生件数（絶対数）（図 2-1）を見ると、全体で前年比 85% の減少、要因は解体工事で横ばいだったものの、新築工事、増改築・リフォーム工事で減少したことによる。また、労働災害発生件数（1000 棟当たり）（図 2-2）を見ると、全体で前年比 110% の増加、要因は全工事で完工棟数が減少したものの、新築工事のみが減少、増改築・リフォーム工事は横ばい、解体工事で増加が続いていることによる。

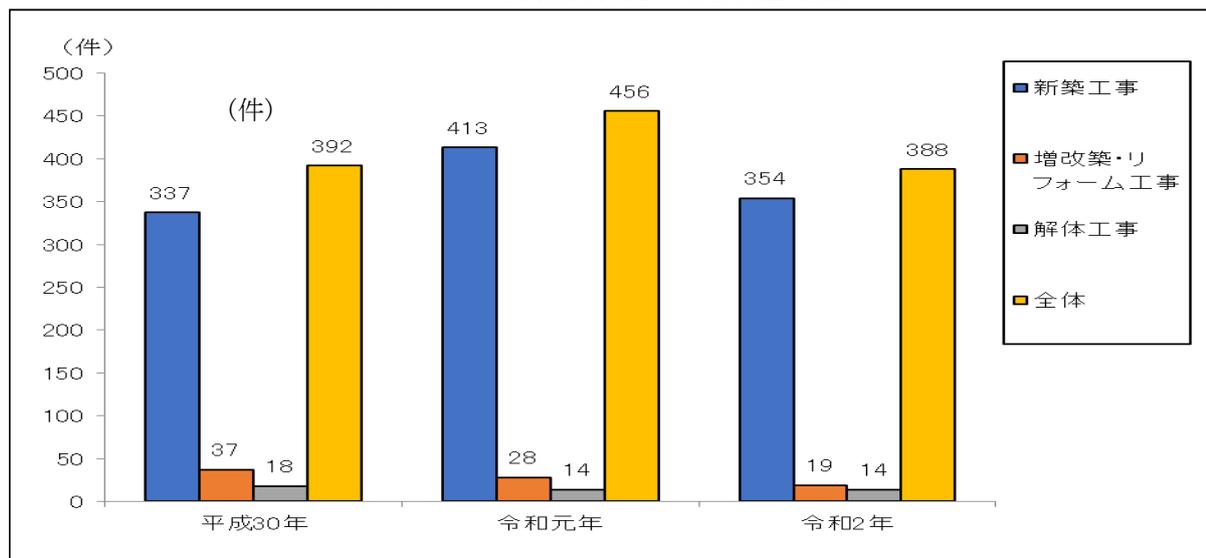
労働災害を防止するには、まず基本として労働安全衛生関係法令を守ること、その上でリスクアセスメントに基づく対策を確実に効果的に行うこと、安全作業定着のために関係者全員が危険認識、安全意識を高める活動を継続的に実践していくことが重要である。

表 2-1 調査企業数・完工棟数・労働災害件数推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
調査企業数	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社	
完工棟数	新築	166,807	159,284	203,207	146,112	138,977	140,144	131,437
	増改築・リフォーム	375,027	315,261	370,901	303,155	378,576	355,026	250,085
	解体	14,579	14,609	11,061	8,612	15,470	9,402	8,774
災害件数	522	428	487	374	392	456	388	

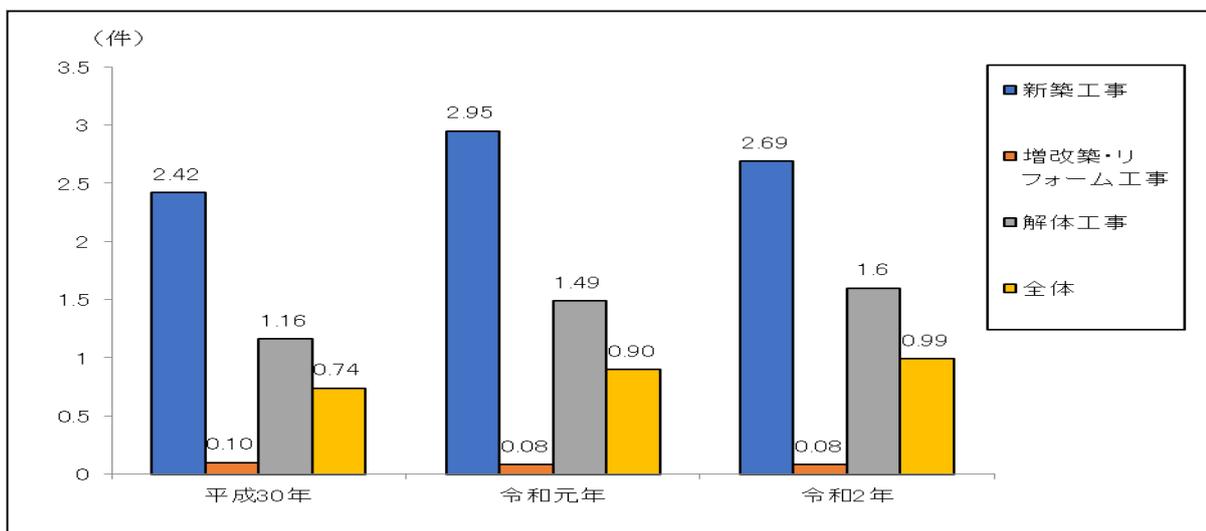
注) 災害件数は休業4日以上 の災害で、一人親方、事業主等を含む。

図 2-1 労働災害発生件数(絶対数)



※全体には工事種不明の発生件数を含む。工事種不明件数は平成30年が0件、元年が1件、2年が1件

図 2-2 労働災害発生件数(1000棟当たり)



※(労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

労働災害発生状況を企業規模別に見るため、アンケート報告企業を年間完工棟数に応じて表2-2のように分類した。

表2-2 規模別企業数推移

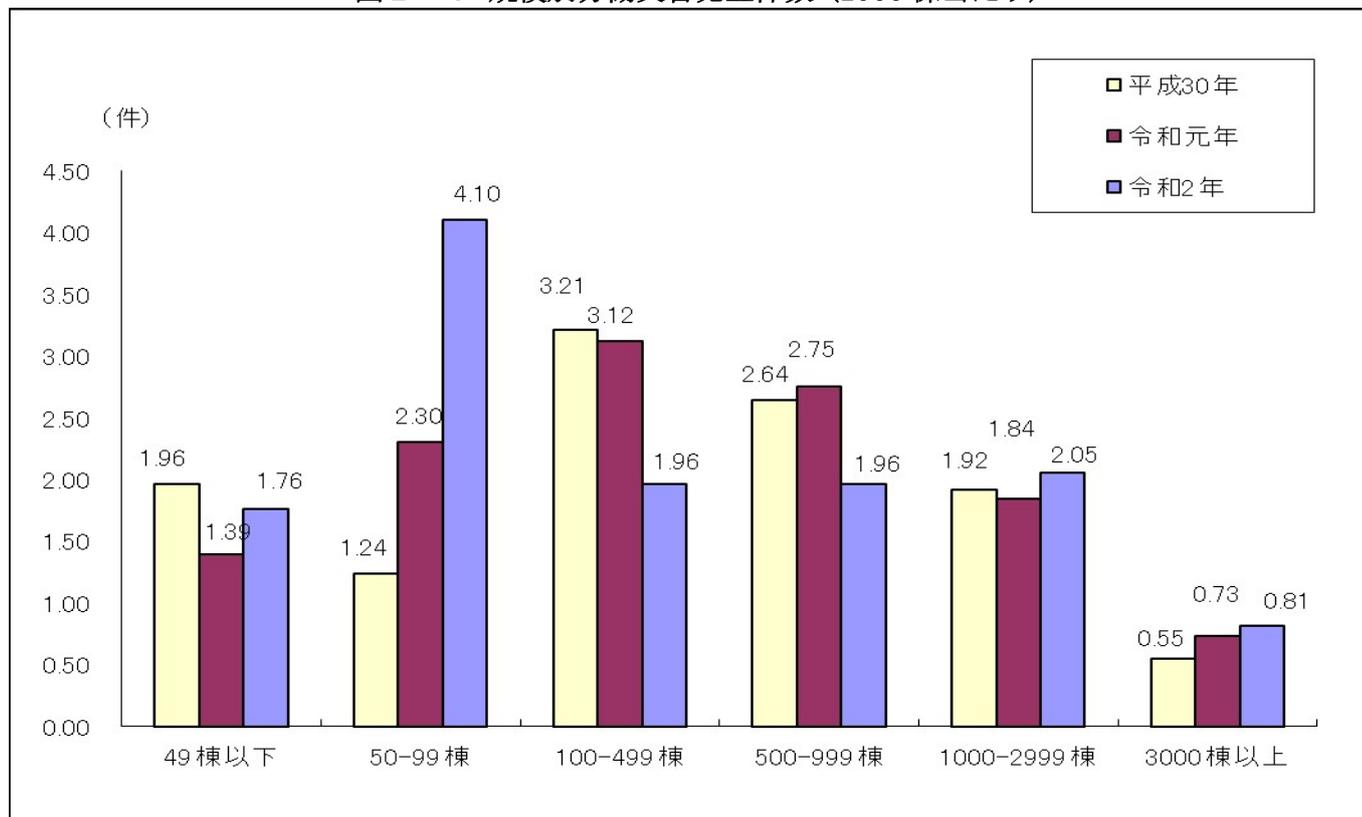
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
年間完工3000棟以上	17社	23社	21社	18社	19社	25社	17社
1000～2999棟	22社	16社	25社	17社	14社	9社	15社
500～999	30社	28社	22社	22社	14社	20社	17社
100～499	88社	95社	104社	80社	64社	68社	66社
50～99	77社	60社	64社	55社	35社	39社	31社
49棟以下	306社	299社	243社	203社	165社	128社	138社
規模不明・その他	4社	8社	0社	0社	0社	0社	0社
計	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社

※年間完工棟数は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計

令和2年の1,000棟当たりの規模別労働災害発生件数は、図2-3のとおりである。2年続けて高止まり傾向にあった『100-499棟』において発生件数が大幅に減少し、他の規模のレンジと比較しても同程度の発生件数となっている。『50-99棟』は前々年の1.8倍の増加に続けて前年も同様の増加傾向となり、2年続けて大幅な増加となった。『49棟以下』は、2割5分増となっている。『500-999棟』は3割程度の減少となっている。『1000-2999棟以下』については、前年と大きな違いはみられない。ただし、『3000棟以上』では、数値として他のレンジより低数値ではあるが、前年比で1.1倍増となり、2年続けての増加となっている。

当該調査における完工棟数の推移は表2-3のとおりである。(完工棟数が大幅に減少しているのは、「増改築・リフォーム工事」が前年比10万件程度少なくなっているのが主な要因)『3000棟以上』の労働災害発生件数は、調査回答者数では17社で全体284社の6%程度にもかかわらず、完工棟数は全体の85%を占めている。『100-499棟』の完工棟数では全体の4.2%だが、労働災害発生率で8.2%、調査回答社数では66社で全体284社の23.2%を占めていることから全体の災害数を減らすうえで重要な位置を依然占めている。1,000棟当たりの労働災害発生件数が2年連続で増加した『50-99棟』では、労働災害発生率は2.3%となっている。

図2-3 規模別労働災害発生件数(1000棟当たり)



※(各棟数エリアの労働災害発生件数)÷[各棟数エリアの(新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数)]×1000

表 2 - 3 規模別完工棟数 及び 労働災害発生件数推移

	完工棟数						災害発生件数						
	平成30年	令和元年	令和2年				平成30年	令和元年	令和2年				
			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	合計			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	無記入	合計
年間完工3000棟以上	476,398	455,802	92,597	232,946	7,351	332,894	260	335	241	15	13	0	269
1000~2999棟	28,144	15,770	18,779	5,933	217	24,929	54	29	50	0	0	1	51
500~999	9,473	13,807	8,070	3,495	150	11,715	25	38	22	1	0	0	23
100~499	14,025	14,434	8,810	6,577	899	16,286	45	45	28	3	1	0	32
50~99	2,427	2,607	1,551	557	88	2,196	3	6	9	0	0	0	9
49棟以下	2,556	2,152	1,630	577	69	2,276	5	3	4	0	0	0	4
規模不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	533,023	504,572	131,437	250,085	8,774	390,296	392	456	354	19	14	1	388

※規模分けは、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計による。

図 2 - 4 規模別完工棟数比率

平成30年

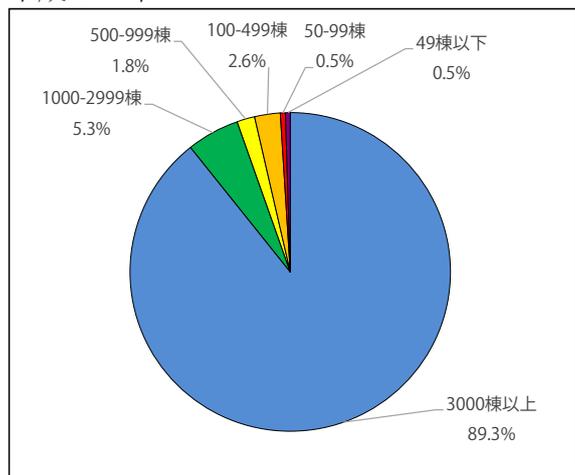
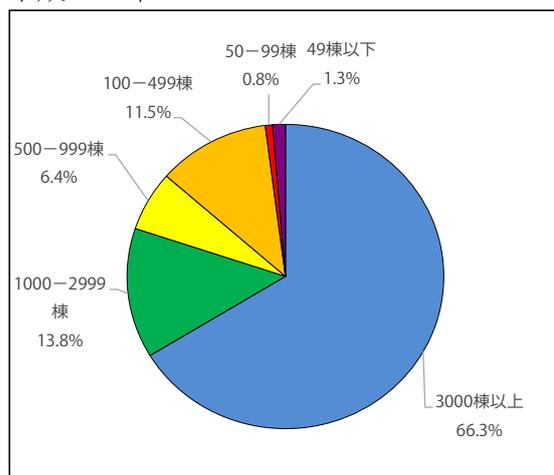
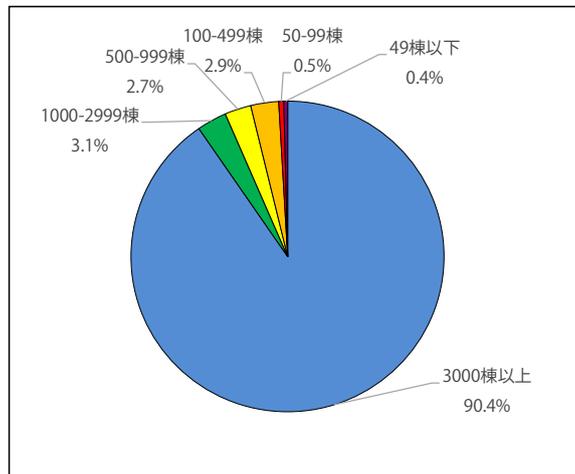


図 2 - 5 規模別労働災害発生率

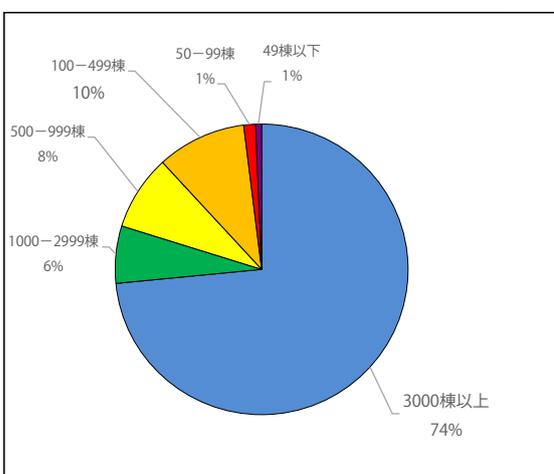
平成30年



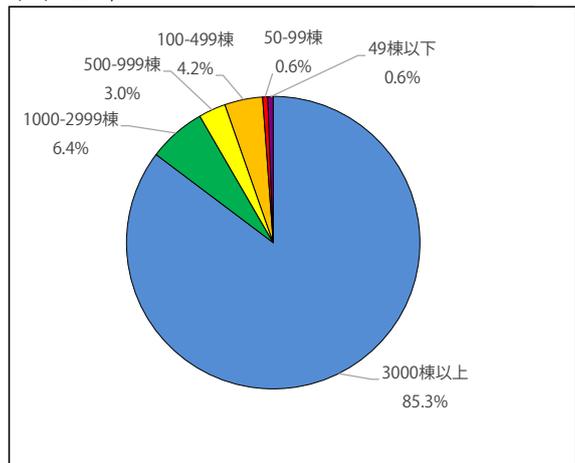
令和元年



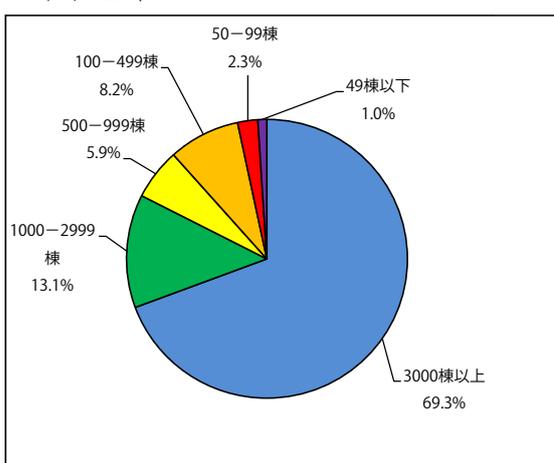
令和元年



令和2年



令和2年

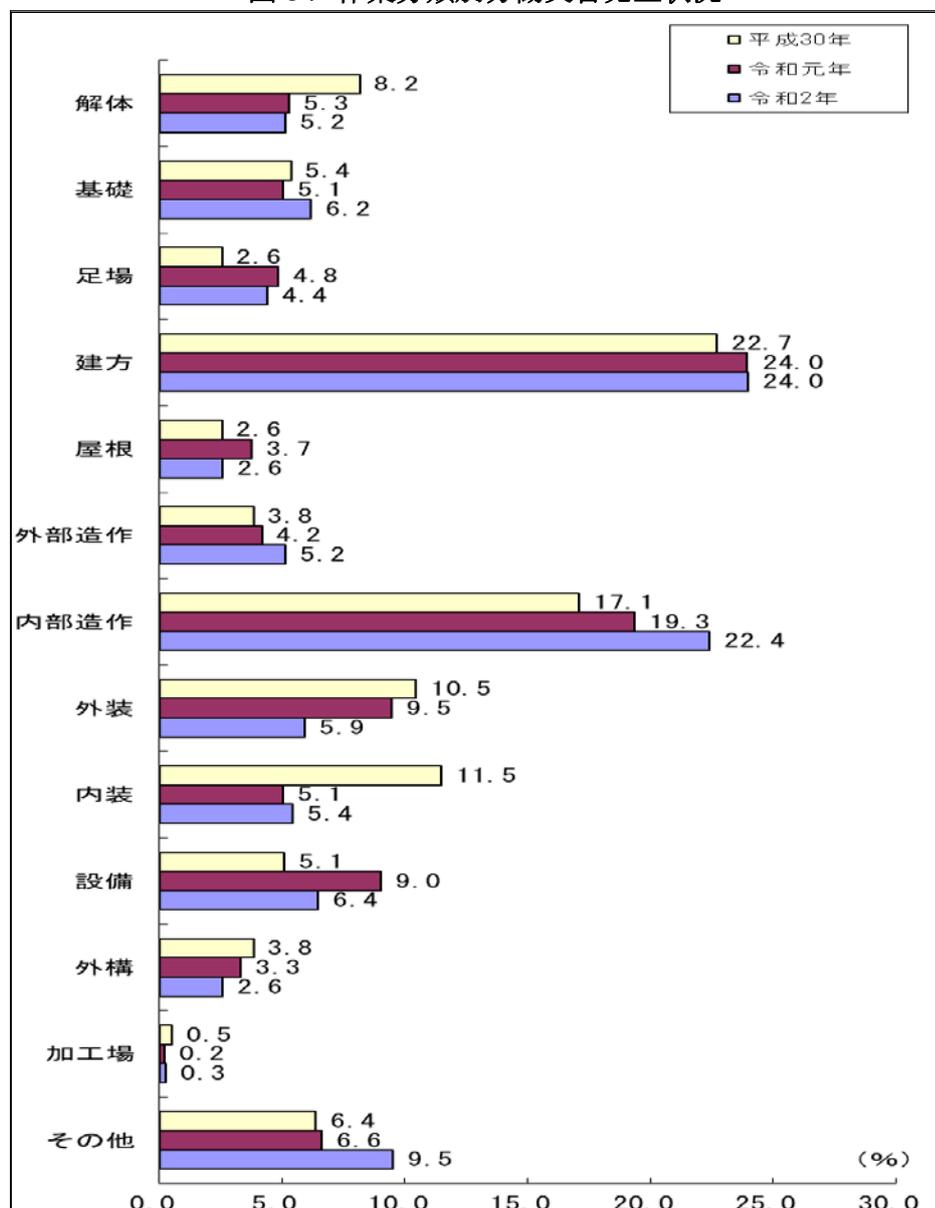


3. 作業分類別労働災害発生状況

令和2年においても近年と変わらず、他の作業と比較して建方工事及び内部造作工事での災害発生比率が高い傾向が続いている。建方は最も発生の多い墜転落災害に直結してしまう環境下での作業であるため、それを防ぐために足場先行工法の常識化にとどまらず墜落制止用器具の使用が不要となるような仮設計画が理想とされてはいるものの、実現することが難しいため、作業員の墜落制止用器具着用の徹底は当然として、墜落制止用器具を使用するための安全ブロックや親綱等の設置など、保護具の使用を促す環境整備も重要である。

内部造作は、墜転落に次いで多く発生している切れ・こすれ災害の原因となる丸この等の電動工具を使う頻度が高い工事であるため、電動工具の定期点検の履行はもちろん、日々の作業開始前・作業終了後の点検並びに作業手順の理解を徹底しなければならない。また高所にはならない高さでの作業時には脚立が用いられる場合が多いが、正しい使用方法の周知とともに、より安定した作業姿勢が取りやすい作業台等への代替も推進する必要がある。

図3. 作業分類別労働災害発生状況



※その他の発生内訳：荷上げ、クリーニング、地盤改良など。

4. 職種分類別労働災害発生状況

職種分類別労働災害発生状況を見ると、概ね例年と同じ傾向である。現場での作業時間が最も多い「大工」が、例年同様に全職種中4割以上の高い割合である。また、「とび足場」「基礎」についても、近年災害発生が増加の傾向にある。

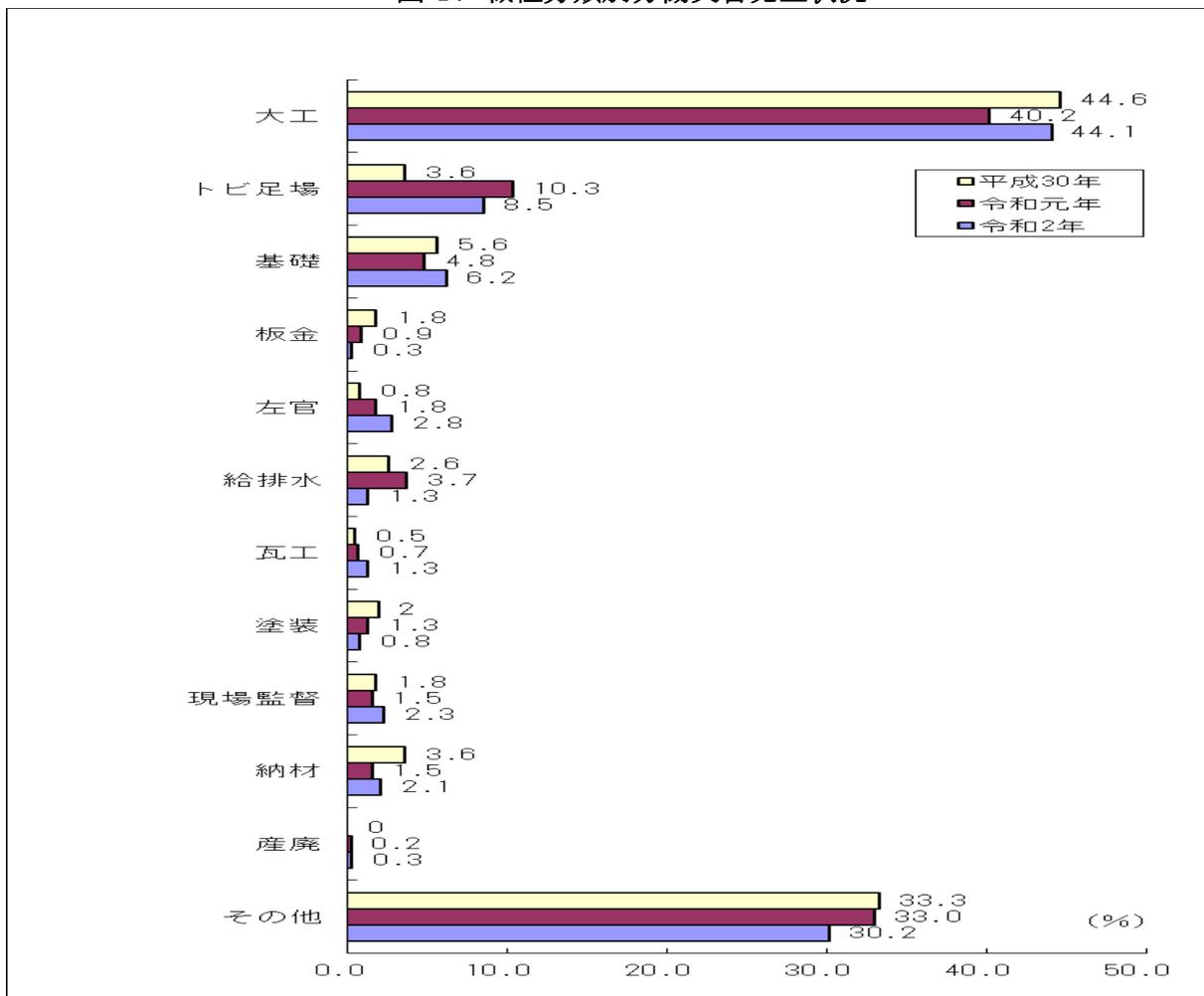
災害発生頻度の最も多い墜転落の災害リスクのある職種としては、脚立を多く利用する職種である「大工」や、足場等高所での作業が必要な「とび足場」といった職種があげられる。

その上、建設業では様々な電動工具や鋭利な刃物を使用する作業が多く、疲労等で気を抜いた際の工具による災害も後を絶たない状況である。

また、屋外での作業が多い職種である「とび足場」「基礎」や、閉所で高温多湿な環境で作業をする「大工」「給排水」等といった職種では、近年、熱中症の発症が顕著になっている。熱中症については、全ての職種で発症リスクになるので、天候を考慮した具体的な事前対策を強力に推進していく必要がある。

「その他」の職種では、例年同様に全体の3割を超える災害が発生している。「その他」の職種の中では、作業環境が不安定で現場での安全管理が難しい「解体」作業での労働災害や、一現場に長期滞在しての作業を行うことが少なく多くの現場を巡回する職種で、現場毎の作業環境に不慣れゆえの労働災害が発生している。また、資材の納入時の災害も多く、車両からの荷下ろし時や現場での荷揚げの際に、無理な態勢で行う作業では災害につながっているケースがみられる。各現場へ入場する時は、足場掛状況、資材搬入のための通路状況等の把握を行なうことを習慣化するとともに、現場の整理整頓等の基本的な現場管理を徹底する必要がある。

図4. 職種分類別労働災害発生状況



※その他の職種：解体、地盤改良、楊重工、エクステリアなど。

5. 原因・型別労働災害発生状況

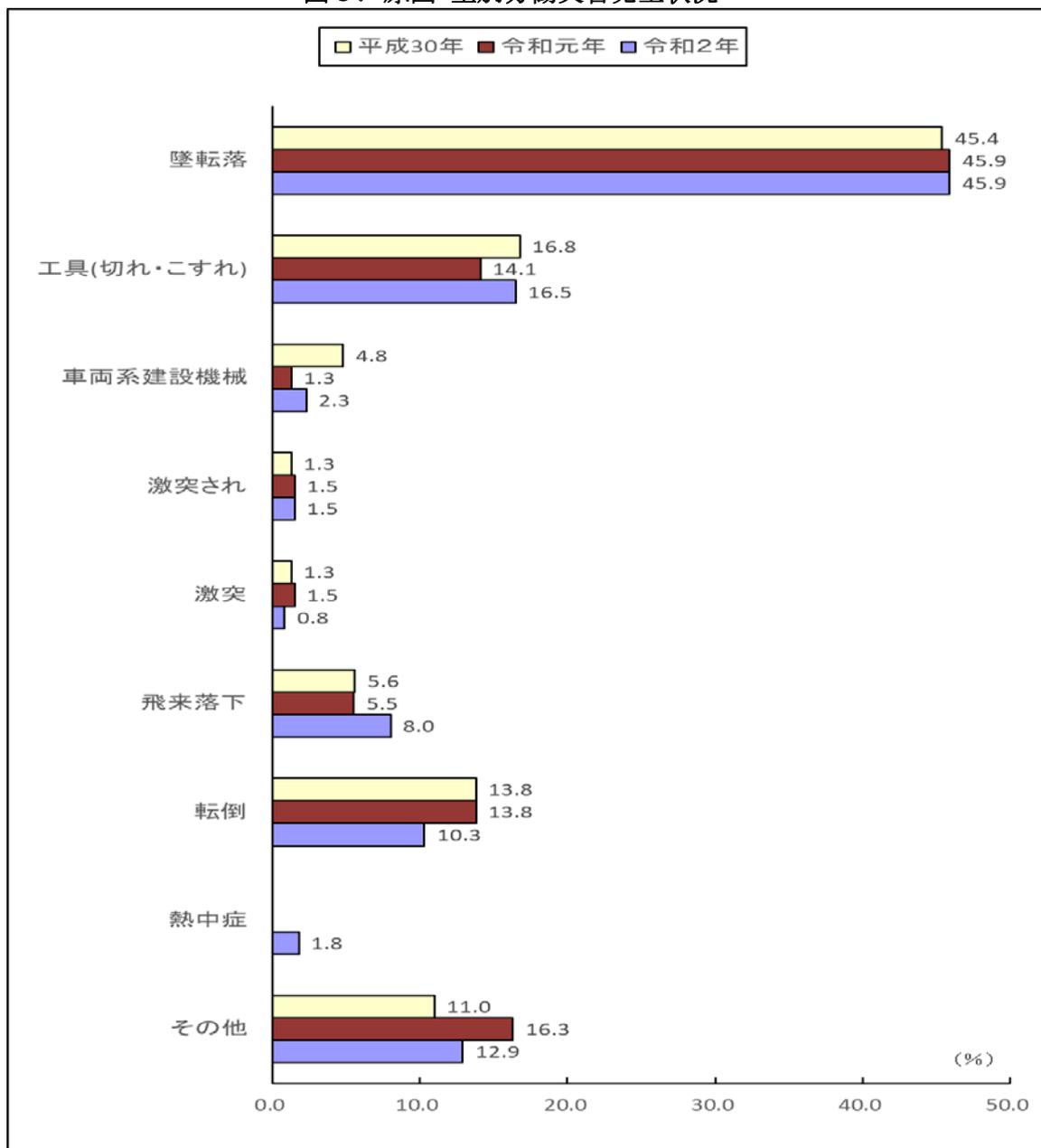
原因・型別労働災害発生状況は、過去3年を比較してみても大きな変化はなく「墜転落」(45.9%)が多く発生している。続いて「工具(切れ・こすれ)」(16.5%)、「転倒」(10.3%)、「飛来落下」(8.0%)の順となっている。

墜転落の内訳では、昨年増加した「足場」からの災害は減少しているが「開口部」・「ハシゴ」からの災害が増加していることが気になる点である。胴ベルト安全帯からハーネス型に移り移りを行っている状況ではあるが高所からの墜転落災害は重大な災害に繋がる危険性が非常に高いので、引き続き作業には墜落制止用器具を着用させるだけではなく、確実にフックを手摺等に掛ける習慣を徹底させなければならない。又、「脚立」・「脚立足場」からの災害は全体の約3割を占めている。繰り返し教育を行うことも重要だが、職長による作業手順の確認と作業への目配りが重要となる。

工具による「切れ・こすれ」の内訳では、近年「釘打ち機」、「丸鋸」、「カッター」、「グラインダ」の順に事故が多く発生している。「回転工具(丸鋸・グラインダ)」使用時の注意点は、作業台を使用し部材をしっかりと固定することが大切だが、キックバックによる災害が後を絶たない。これらの災害を減らすためにはキックバック防止機構付き工具の導入を検討することも必要である。また「釘打ち機」では釘の連結ワイヤーが目刺さる事故が多発している。保護シールド装着の徹底が重要である。

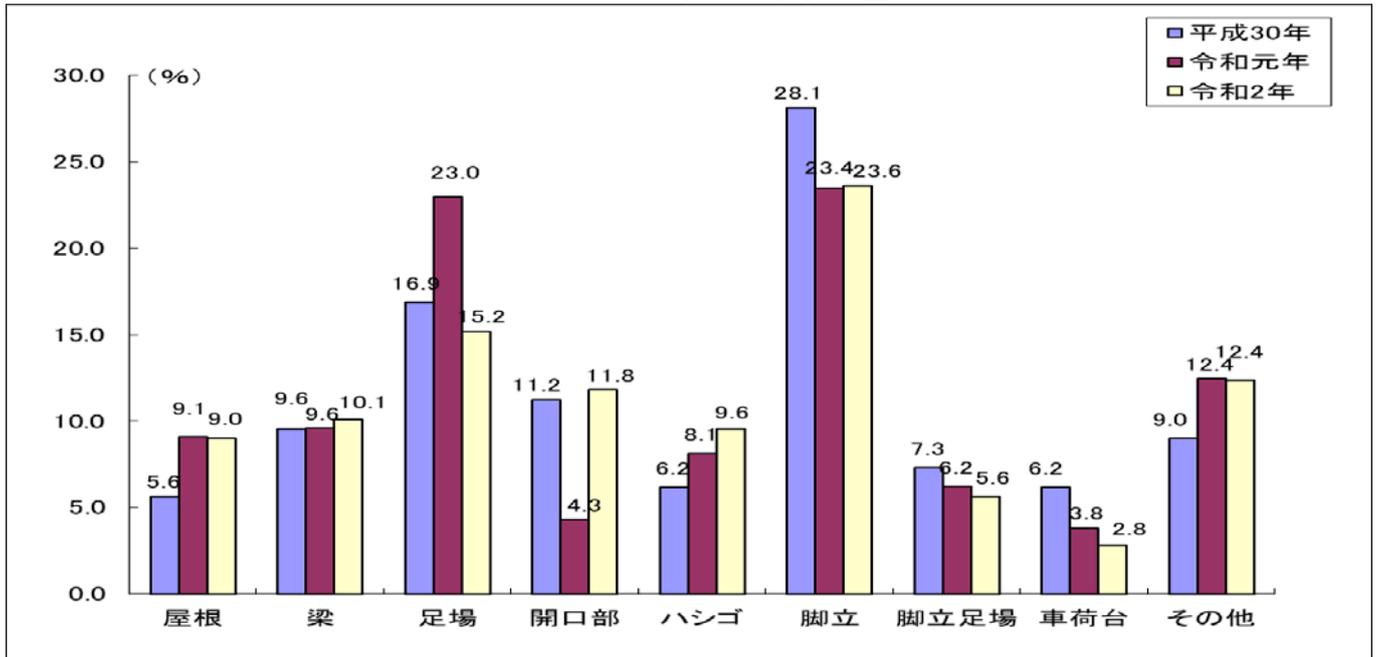
今年からこれまで増加傾向にある「熱中症」を図に掲げる事とした。近年の異常気象に対し、熱順化による対応やWBGT値に基づいた効果的な熱中症対策が求められる。

図5. 原因・型別労働災害発生状況



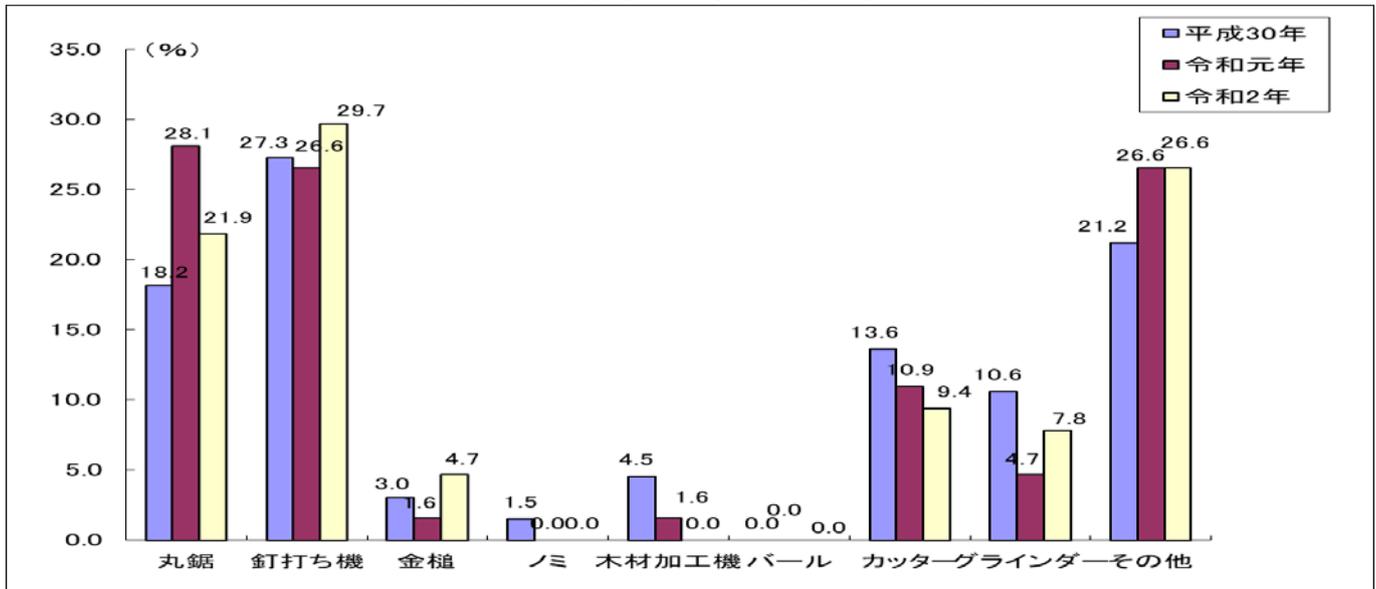
※その他の発生内訳: 挟まれ、巻き込まれ、感電、釘踏み抜きなど

図5-1 原因・型別労災発生状況（墜転落の内訳）



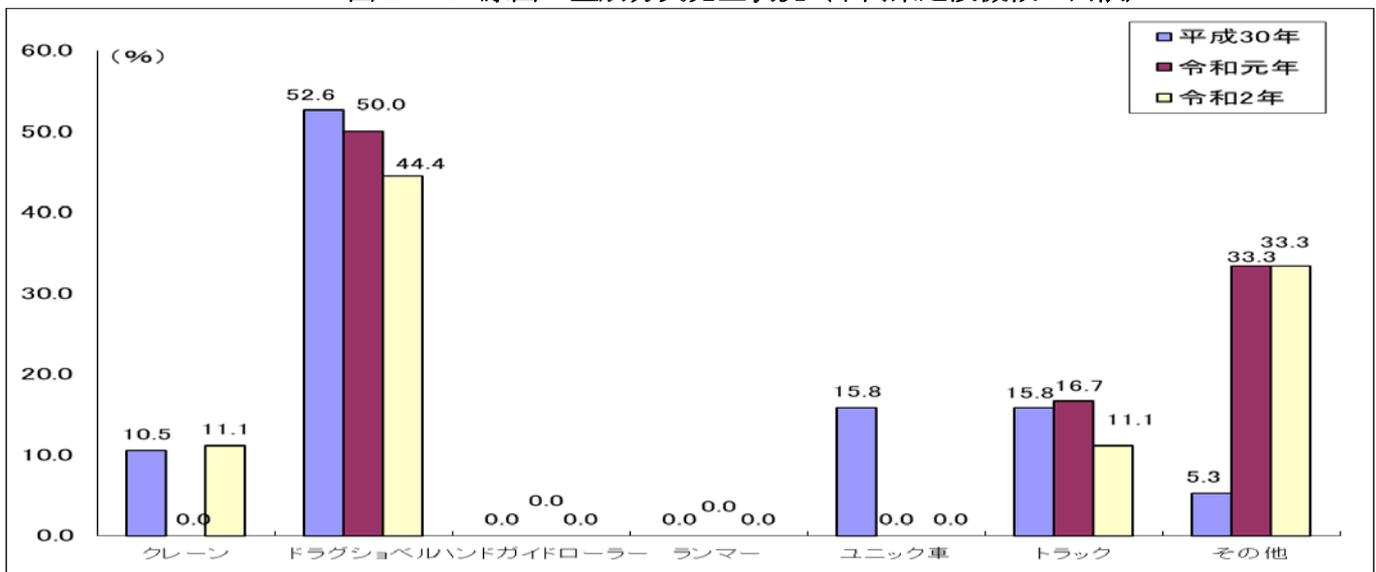
※その他の発生内訳：階段、擁壁、作業台、壁パネル、型枠など。

図5-2 原因・型別労災発生状況（工具「切れ・こすれ」の内訳）



※その他の発生内訳：ガラス、金具、木材、軽鉄下地材など。

図5-3 原因・型別労災発生状況（車両系建設機械の内訳）

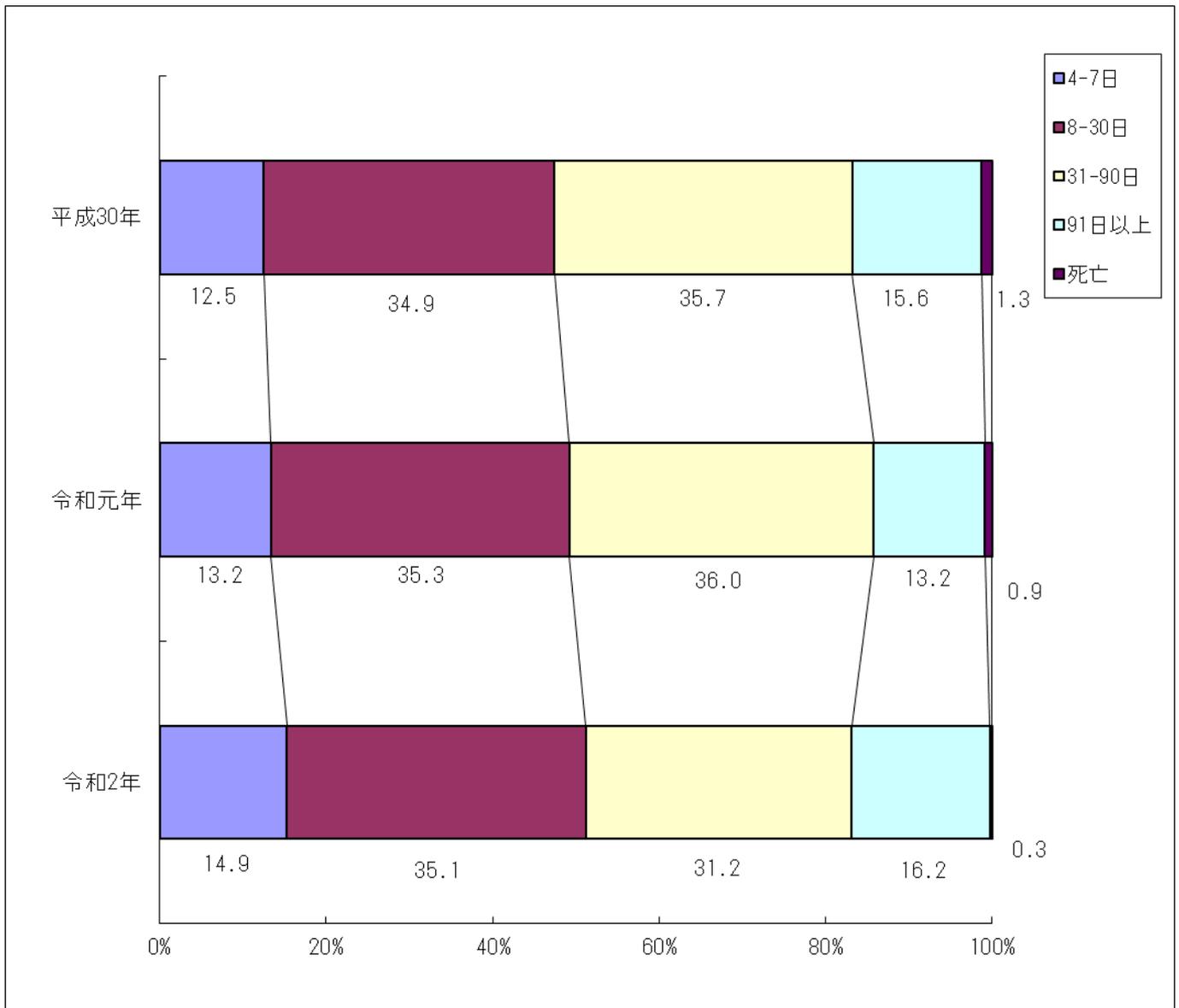


※その他の発生内訳：ミキサー、杭打ち機など。

6. 休業日数別労働災害発生状況

労働災害の休業日数については、この3年間で休業31日以上の割合は減少傾向にあるものの、依然高い割合を占めている。(47.7%)。また死亡事故については減少傾向である。特に重大な災害につながる『墜転落』『電動工具』『車両系建設機械』について、元請業者・事業主が協力して労働者に災害防止の重要性について常に自覚を持つように、繰り返し安全衛生教育を実施しなければならない。

図6 休業日数別労働災害発生状況



7. 雇用形態別労働災害発生状況

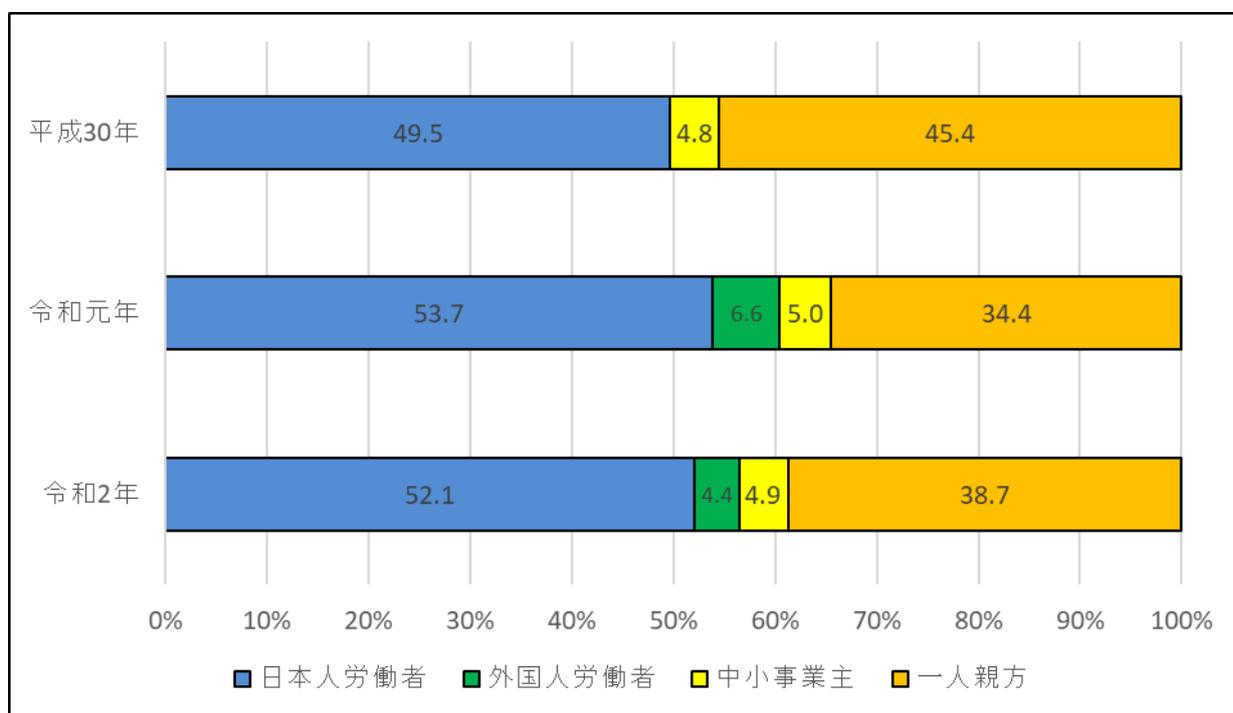
令和元年と比較すると、労働者（日本人と外国人の合計）▲3.8%、事業主▲0.1%、一人親方＋4.3%となっており、「一人親方」の割合が増加した一方、「労働者」の割合は減少した。

今後も、指導・教育する中心な立場である「事業主」には、労働安全衛生に対する意識を高めることが求められ、一人親方も含めた労働者への具体的な対応としては、安全衛生に係わる必要な知識・資格の習得・取得、災害未然防止安全活動の確実な実施が挙げられる。

また、「一人親方」に対しては、万が一の災害補償対策として「労災保険の特別加入制度」等への加入促進も引き続き必要となる。

尚、外国人労働者に関する動向については、引き続き注視してゆく。

図7 雇用形態別労働災害発生状況

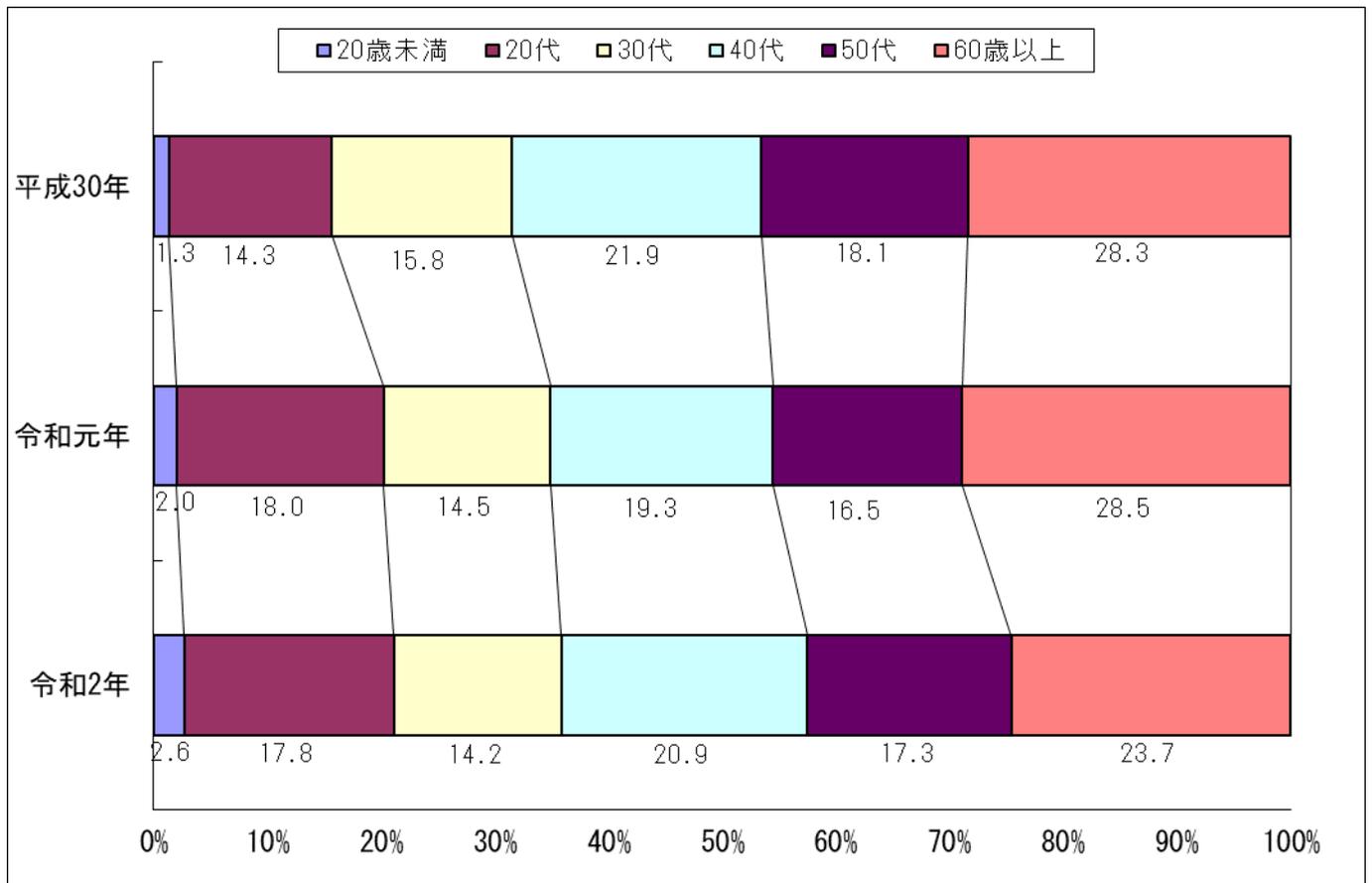


8. 年齢層別労働災害発生状況

令和2年は、令和元年に比べ40歳代と50歳代で増加し、他の年代層では減少の傾向が見られた。令和2年全体で見ると60歳代以上の割合が23.7%と全体で大きな割合を占めており、40歳代が20.9%と前年より1.6%と増加した。今後も低層住宅工事に携わる高年齢化と、若い外国人労働者の増加が予想されるため、高年齢層と低年齢層の災害発生比率の増加が懸念される。また、原因・型別労働災害発生状況では墜転落が最も高い割合を占めているため、労働災害防止に対して、安全衛生責任者（推進者を含む）および現場の管理・監督者は、現場巡視による日々の健康状態の把握をおこなうと共に、特に建て方作業や高所作業における適正配置を考慮し、正しい作業手順が確実に実施されているか確認し、危険の芽をいち早く摘むことが必要である。

また、特に20歳代と中・高齢者作業員に対する新規入場者教育・送り出し教育を確実に実施し、職長・安全衛生責任者教育、能力向上教育など安全衛生教育を継続的かつ、定期的に行うことによって更なる安全に対する意識を高めていくことが重要である。

図8 年齢層別労働災害発生状況



9. 月別・曜日別・時間別 労働災害発生状況

月別の労働災害発生状況（図9-1）は、3月～5月及び11月、12月が6～7%台の減少傾向で推移しており、作業に適した気候並びに工事量の平準化などの取り組みの効果が伺われる。対して6月～10月は8%～10%台と高めの発生状況が継続しており、6月頃からの急激な気温・湿度の上昇に伴う注意力の散漫、さらには熱中症対策として、WBGT値（暑さ指数）に対応した作業計画の見直し、給水・塩分補給等の配慮、空調服の導入、遮光対策などの一層の充実が必要である。

曜日別（図9-2）の発生状況に関しては、木曜日が20%と突出しており、週半ばでの疲労の蓄積との関係が推察される一方、土曜日は一昨年より2%ずつ減少しており、土曜日休工の増加傾向との関連が伺われる。

時間帯別（図9-3）では9時台と11時台が15%台前後と最も高い。次いで16時台が11%と高く、いずれも休憩や終業を目前とした時間帯での発生率が高い傾向が継続している。

上記より気候条件の変化や労働の継続による疲労の蓄積に留意し、長時間の作業継続を避け、適時の休憩を取得するなどの対策について、継続的に安全衛生教育を実施しなければならない。

図9-1 月別 労働災害発生状況

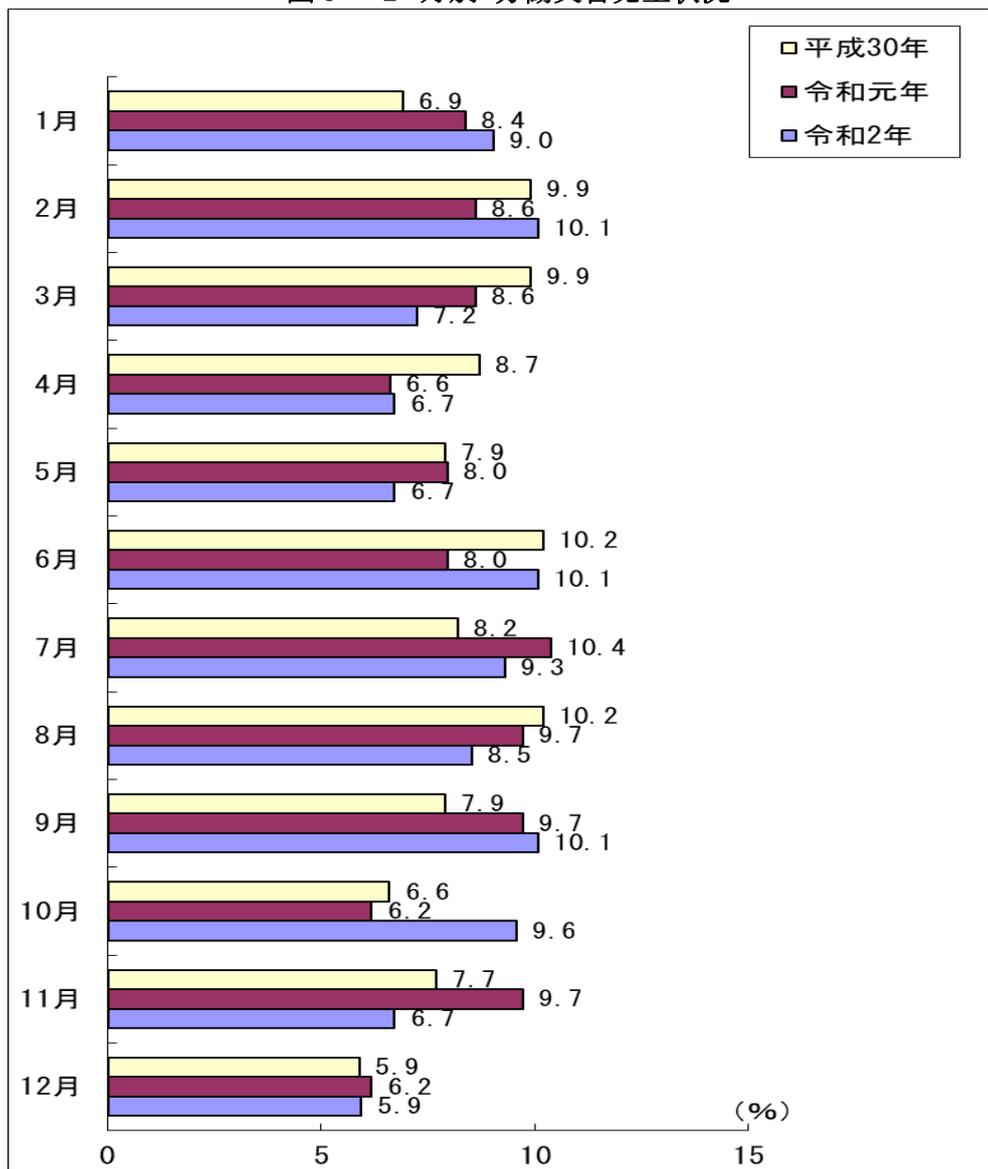


図9-2 曜日別 労働災害発生状況

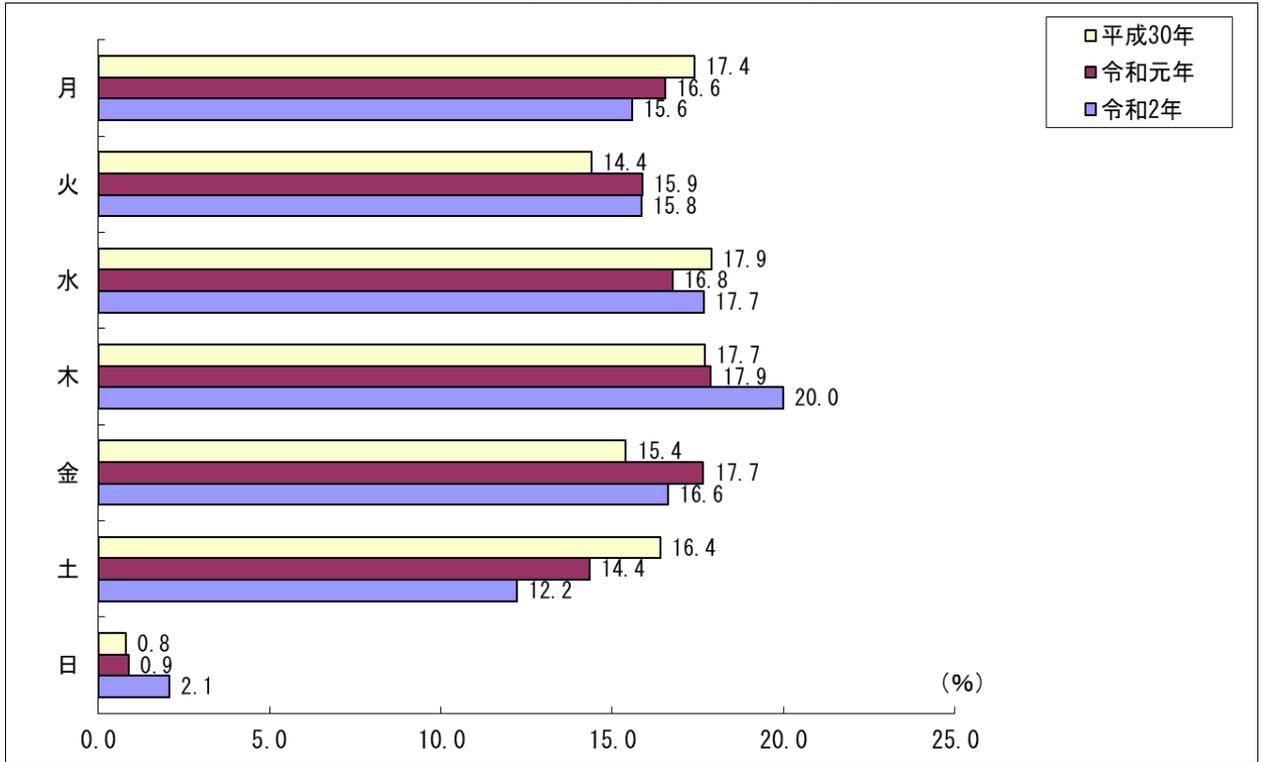
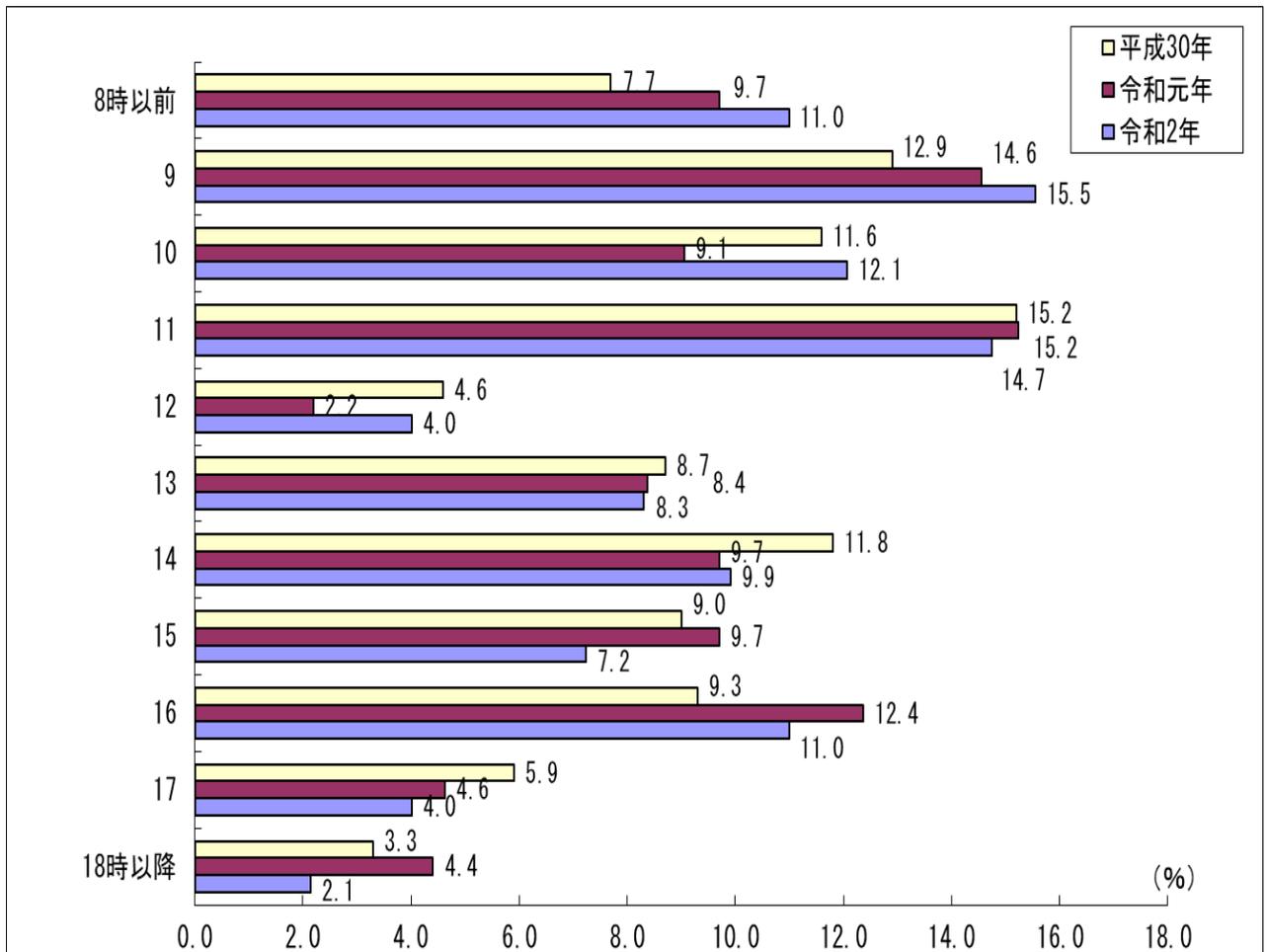


図9-3 時間帯別 労働災害発生状況



令和2年 労働災害発生状況

作業分類の「その他」(13)に対する回答 (図3)

- ・2×4 壁パネル作成
- ・タイル工事
- ・屋外での打合せ中
- ・荷受(2件)
- ・荷揚げ(3件)
- ・現場清掃・片付(4件)
- ・作業通路歩行中
- ・資材搬入(11件)
- ・段ボールをカッターナイフで切り開く作業中
- ・地盤補強(細径管打ち込み)
- ・記載なし(13件)
- ・クリーニング(3件)
- ・プレキャストパネル製造
- ・仮設
- ・左官(2件)
- ・産廃回収(2件)
- ・地盤改良(3件)
- ・土台
- ・塗装(メンテナンス)
- ・シャッター取付
- ・移動(昇降)中
- ・帰宅途中の車運転時
- ・検査(2件)
- ・現場監督
- ・材料を配る
- ・断熱

職種分類の「その他」(26)に対する回答 (図4)

- ・エクステリア(3件)
- ・フレーマー(3件)
- ・外装工
- ・営業設計
- ・荷揚げ工(3件)
- ・警備(4件)
- ・建方時の応援職人
- ・地盤改良(3件)
- ・記載なし(19件)
- ・美装(3件)
- ・ポンプ圧送
- ・ラスエ職
- ・仮設業者
- ・外国人実習生
- ・杭
- ・雑役(4件)
- ・プレキャストパネル製造
- ・バスリブ施工
- ・ユニットバス(2件)
- ・営業
- ・荷受(2件)
- ・断熱工
- ・清掃(2件)
- ・揚重工(4件)
- ・内装工(断熱材吹込)

災害分類/墜転落の「その他」(19)に対する回答 (図5-1)

- ・ステップ階段
- ・屋根の垂木
- ・荷揚げリフト
- ・基礎型枠
- ・作業台(2件)
- ・内部階段(3件)
- ・床作業
- ・トラック荷台
- ・仮設階段(3件)
- ・階段
- ・掘削部
- ・資材落下
- ・擁壁天端より転落
- ・フレコン
- ・可搬式作業台
- ・基礎
- ・型枠解体现場
- ・小屋裏収納階段
- ・壁パネル上(2件)

- ・コア抜き機台座から滑り落ちた
- ・バルコニー小市壁からバルコニー床へ転落

災害分類/切れ・こすれの「その他」(29)に対する回答 (図5-2)

- | | | |
|------------------|------------|-----------|
| ・L鉄板 | ・アンカーボルト | ・エンジンカッター |
| ・ガラス(2件) | ・キッチン天板 | ・スコップ |
| ・スタッド(3件) | ・タイル | ・タッカー |
| ・ツルハシ接触 | ・ハンドミキサーの羽 | ・右足裏の刺創 |
| ・モルタル | ・モルタルミキサー | ・火打ち金具で裂傷 |
| ・外壁金具 | ・型枠 | ・軽鉄下地材 |
| ・軽鉄材 | ・床パネル | ・電動ドリル |
| ・単管 | ・柱の金物 | ・木製の建前かけや |
| ・胴差面材 | ・木材(2件) | |
| ・野地板 | ・連結ワイヤー | |
| ・レシプロソー(電動のこ) | | |
| ・階段手摺下地の補強鉄板 | | |
| ・脚立(天板が劣化破損していた) | | |
| ・板金の切りハヘンで切る | | |
| ・記載なし(1件) | | |

災害分類/車両系建設機械の「その他」(36)に対する回答 (図5-3)

- | | | |
|------------|-------|------|
| ・クローラー式杭打機 | ・ミキサー | ・杭打機 |
|------------|-------|------|

災害分類/「その他」(90)に対する回答 (図5)

- | | | |
|------------------------|----------|-------------|
| ・ぎっくり腰 | ・すべり | ・ブロック倒壊 |
| ・右脛に釘が当たった | ・巻き込まれ | ・感電(2件) |
| ・鉄板に親指を挟んだ | ・挟まれ(5件) | ・骨折 |
| ・筋肉疲労 | ・玄関扉に挟まれ | ・重量物運搬で腰痛 |
| ・左ふくらはぎ肉離れ | ・左手首骨折 | ・波板で左手神経切断 |
| ・柱とリン木に挟まれ | ・吊りワイヤー | ・踏み抜き：釘(3件) |
| ・分類不能(体調管理) | ・不明 | |
| ・クギ打ち機で脛にクギを打つ(2件) | | |
| ・タイルに右手中指を挟む | | |
| ・トラック荷台で挟まれ | | |
| ・はさまれ, 巻き込まれ(2件) | | |
| ・はさまれ・巻き込まれ：コンクリートブロック | | |

- ・はさまれ・巻き込まれ：ブローイング吹込み機械
- ・はさまれ・巻き込まれ：成型機
- ・はさまれ・巻き込まれ・丸ノコ
- ・マットの凹みにはまった
- ・ラック吊り上げ時に左手をはさむ
- ・室内の階段を1段踏み外した
- ・大谷石の移動作業中に火出して中指を挟む
- ・電動ドリルに巻き込まれ
- ・動作の反動、無理な動作
- ・動作の反動・無理な動作：界壁ボード
- ・動作の反動・無理な動作：脚立
- ・動作の反動・無理な動作：高所作業車
- ・動作の反動・無理な動作・ハンマー
- ・動作の反動・無理な動作・ホルソー
- ・動作の反動・無理な動作・電動自在キリ
- ・崩壊・倒壊(3件)
- ・崩壊・倒壊：母屋材
- ・崩壊・倒壊・石膏ボード(2件)
- ・記載なし(8件)

災害分類<墜転落>の発生状況

- 足場2層目から階段ユニットに移る時、足が掛り転落。
- イメージシートを背に作業中、シートが重さに耐えきれず転落。
- 屋根上作業が終了後、梯子から降りようとした時突風に煽られ転落。
- 階段用吹抜け部に足をはみ出し、よろけて転落。
- 足場がぐらついたので咄嗟に隣地に飛び降り被災。
- コア抜き機の台座に足を乗せ作業。機械が左右に振れ滑り、隣地に転落。
- 屋根の点検後、梯子が滑りバランスを崩し転落。
- 屋根移動時、屋根材に足を滑らせ転倒し地面に転落した。
- 底面材を取外す作業中、底の重みで前のめりになり転落。
- 玄関ドア交換工事中、脚立からバランスを崩し転落。
- 先行足場組の際、3層目の足場より転落し死亡。
- 塗装工事前足場組立中。建地を昇り手摺とブレスの間から転落。
- 足場解体工事中。作業床受渡時に開口部からバランスを崩して転落。
- 大工職が6尺脚立に掛けてあったインパクトドライバーを取るため脚立に昇った際、腰袋が脚立に引掛りバランスを崩し左踵から床について骨折した。

- クロス工が2階勾配天井高部分の壁施工時に、梯子にてクロス貼り作業中、高さ2m程の所で体の向きを変えようとした際に、腰袋が引掛り体勢を崩し転落した。
- 大工が作業台にて単独で（ボードリフト使用）天井ボード貼り中に意識を失い作業台より落下した。
- 内装大工が可搬式作業台で作業中、作業の振動により作業台が少しずつ移動したため、作業台の脚が段差に落ち、作業者も転落した。
- 建方が一人で仮設梯子をベルトで固定中に、梯子の足元が滑り、梯子ごと1階土間コンクリートに転落した。
- 電気工が先行配管工事中に、テレビ配線を梁上に配ろうとして7尺の脚立の天版を跨ごうとしてバランスを崩し転落した。
- 大工職が、天井下地調整作業を終えて脚立足場を降りる時に、床に着いた左足を捻って捻挫した。
- 建方が外装工事中の2階梁上で、材料移動作業中に足を滑らせて床梁上から外周側の足場との間に転落した。
- 建方が梁掛け作業終了後、脚立上で吊り具の巻上げ指示した際、腰袋付近にその紐が引掛りそのまま引っ張られた為、バランスを崩して脚立と一緒に転落した。
- 電気工が足場作業床の巾240の場所で右足を踏み外し、転落した。
- 建方が、2階床上で脚立（5尺？）を使用し小屋梁取付作業中に、脚立から降りる際に最下段を踏み外した。
- 内装大工が玄関を開けようとした際、バランスを崩し右足が開口部へ落ちた。
- 大工職が2階建SHM小屋裏の界壁ボードを施工中に小屋梁より2階床へ転落した。
- クロス職方が、高さ1.85mに設置した歩み板が固定していなかった為、ずれて足から床に落下した。
- 建方がトラックから部材荷降ろし中に、トラック横面のあおり止めチェーンのフックが外れ3人が転落。うち一人が転落時に荷台の角で膝を打った。
- 電気職が外部足場1層目で外壁穴あけ作業中、清掃道具を取りに行く為に足場建地から昇降し転落した。
- 空調設備業者が室内作業で、2人でアメニティ換気ダクト配管作業を行っていたところ、8尺脚立の6段目よりバランスを崩して転落した。
- 2階開口部仮床撤去の際に、根太に足を掛けた時に根太ごと1階床パネル上に転落した。
- 6尺脚立を移動する際に、段差でバランスを崩して転倒した。
- 基礎職方が現場から搬出した型枠を、資材置き場へ返却する際に、置き場2

階の開口部より転落した。

- 解体工が、屋上で屋根上の安全带取付設備を設置するために、親綱をもって移動していた際に足を滑らせて落下した。
- 建方が2階床上で、6尺脚立に跨った姿勢にて3階床梁を荷受けする際に、回転してきた梁部材に押される態勢となり後ろ向きに脚立ごと転倒した。
- ユニットバス設置場所の天井ボードを、可搬式作業台に乗り施工中、作業台から身を乗り出し身体のバランスを崩し転落した。
- 2階ALC床の段差部際の脚立で界壁ボード施工中、脚立から降りる際段差部へ足を落とし、身体のバランスを崩し脚立にわき腹を強打した。
- 完成入居済みの住宅外壁に梯子を立て、単独作業でエアコンの冷媒配管カバーを付けようと登っている時、身体のバランスを失墜落した。
- 脚立に乗り、エアコン下地付き間仕切りパネルの建込み中、間仕切りパネルの通り調整でエアコン下地合板を持って引いた瞬間、合板が外れ後方に転落した。
- 瓦揚げ機を撤去し、足場の屋根面手摺を普及している時、屋根面軒先作業で安全带未使用であった為、足を滑らせ転落した。
- 住宅の玄関上部の外壁タイル施工中、足場上を移動していて、誤って足場に頭部をぶつけて、身体のバランスを崩し地面へ約1/4m転落した。
- 基礎の埋め戻し現場で、掘削際に設置していたレーザーレベルの電源を切ろうと近づいて、誤って掘削部へ足を滑らせ転落した。
- 集合現場の基礎土間下地防湿シート施工中、間仕切り基礎上を移動していて、間仕切り基礎上に置かれた防湿シートを避けようとして転落した。
- 木造平屋建て福祉施設建物の建方工事中、安全带未使用、水平ネット未設置状況の1階小屋梁上から、1階コンクリート土間上へ約3/5m転落した。
- トラックの上に積載された発電機の上に乗る、フレコンの養生シートを直し降りようとした時、足を滑らせて地面に落ちた。
- 2階ロフト床に上り屋切パネルを固定中、バランスを崩し落ちた。
- 梁の上に乗る小梁を取付中、足を踏み外し落下し、咄嗟に梁につかまった時、梁受け金物に腕が引っ掛かった。
- 外部足場に立ち、片足で壁パネルを押し入れようとした時、バランスを崩し落ちた。
- 脚立に乗り軒先水切り取付中、バランスを崩し落ちた。
- 組立中、仮設階段を下りている時、仮設階段が滑り（未固定）落ちた。
- 脚立に乗り配線中、身を乗り出して配線をつかんだ時、バランスを崩し落ちた。
- 屋根パネル組立中、屋根に乗り吊り治具を外した時、他の者が屋根パネルの

位置をずらした瞬間に屋根パネルが落下し一緒に落ちた。

- 吊荷を受け取り中、蔵階段に足を掛けた時、階段が外れ落ちた（蔵階段未固定）。
- 脚立に乗り内部窓枠をビスで取付中、バランスを崩し落ちた。
- 垂木取付中、垂木の上に乗って移動している時、垂木が折れて落ちた。
- 石膏ボード搬出作業で、階段を下りている時、足を踏み外し転落。
- 外壁清掃作業で、梯子に上り拭いている時、転落。
- 天井パテケレン作業で、脚立にかけた道板が外れ転落。
- 2階窓を屋外から梯子に上り拭いていた時、バランスを崩し転落。
- 4階ベランダより鉄骨を下ろしていた時、鉄骨が袖に引っ掛かり転落。
- 石膏ボード荷揚げ中、階段足場にボードを当て、バランスを崩し転落。
- 梁付け作業中、脚立上でシノを引いた時、シノが外れ転落。
- 梁断熱作業中、脚立を下りる時、手を掛けた玄関子扉が開き転落。
- 型枠検査中、型枠天端を歩行している時、足を滑らせて転落。
- 外壁穴あけ作業中、足場から脚立に乗り移ろうとした時、足を滑らせ転落。
- 軽鉄野縁作業中、脚立を下りる時、足を滑らせ転落。
- 塗装工事中、タラップを下りている時、段板を踏み外し転落。
- トラック荷台上で廃材整理中、バランスを崩して転落。
- 天井ボード施工中にボードを持った状態でバランスを崩し脚立から墜落。その際石膏ボードが落下し、床面に垂直に立った石膏ボードの側面に鼻があたり切傷し、鼻切傷（15針縫合）。
- 2階東面外壁（狭小地パネル）の建て込み作業において、乾式目地のコーキング作業中、外壁が下りてきたため、移動しようとした際に、ALC床と梁の段差に足をとられ、バランスを崩し、親綱の下から横向きに墜落し、頚椎・肋骨・鎖骨骨折、背骨圧迫骨折、外傷性肺気胸、頭部裂傷。（安全帯未使用）
- 木造2階建ての解体工事にて、建物周囲に養生の単管シートの設置作業中、4層目の単管横棧の組み込み作業において被災者が安全帯未使用で横棧3層目（高さ約5.4m）の単管の上を移動する際に足を滑らせ墜落し、肋骨を骨折。
- 外部足場の昇降階段で、破風化粧カバー（長さ2.7m）2本をかかえ、階段を上っていたところ、カバーがどこかに当たり反動でバランスを崩し、頭を下にして階段を2m程度滑り落ち、手摺部分で額を切傷。
- 据付時、階段吹抜けより転落。
- 内部造作中、脚立から転倒し受傷。
- 足場解体中に屋根から転落し受傷。
- カーポートの屋根張替作業時に脚立から落下。

- 吹抜け作業中、足場板が折れ墜落。
- 脚立での作業中、脚立が傾き飛び降りて着地時左膝損傷。
- 1階から2階へ昇降時、仮設梯子足元が未固定で梯子がすべり転落。
- 2階間柱・筋違い施工中に開口部より1階土間部分へ転落。
- 脚立上で1F軒天確認中に1F廊下土間に転落。
- 2階ベランダから手摺撤去作業中に足を滑らせ墜落。
- 解体工事で屋根スレートを手で外す作業中、屋根上からスレートを踏み抜き落下。
- 4tダンプの荷台から鋼管材を荷下ろししていた際に、荷台上の作業員がバランスを崩し、地面へ落下した。
- 建方作業中、2階床根太施工中に根太上から落下。
- 2階床根太を下から脚立にて施工していた所、床根太の仮固定釘が外れ床根太が落下、その衝撃で脚立から転落。
- 2階天井根太上に設置した仮床から根太に足をかけた際、節部が破断し、根太とともに落下した。
- 解体養生シート設置後、下屋根伝いに移動中バランスを崩し転落。踵を骨折。
- 先行足場組立中、下から声を掛けられ振り向きざまにバランスを崩し転落。腰部打撲。
- 2階より梯子に背を向け降りる途中で踏外し、滑り転落。踵を骨折。
- 現場組建方の3階床梁を2階壁上から吊り上げようとして、2階床に墜落。
- 天井バスリブを施工中に、立ち馬から隣の立ち馬へ飛び移ろうとして転落。
- シャッター取付で脚立足場から降りようとして足を踏み外し、U字溝角に胸をぶつけた。
- ウッドデッキ材の荷揚げ用に掛けた梯子を使って降りる際、梯子がずれて転落。
- 内部階段に付いた木くずを清掃中に足を踏み外して転落。
- 建て方作業中、床パネルが分解し2階床から転落。
- 2連梯子で2階サッシ清掃中、転落。
- 外壁下地材取付作業中3層目足場より2層目踊り場に落下後、反動にて地上に落下。
- 養生ビニールを踏み抜き墜落。
- 脚立作業中にバランスを崩して転倒。
- 脚立作業中にバランスを崩して転倒。
- 脚立作業中にバランスを崩して転倒。
- 2階UBの吊架台を設置する際に開口部から墜落し、梁に左脇腹を強打。
- 外壁養生材の剥離作業中2階建て屋根面から1階床面まで転落。

- 屋根の上で、荷上げた材料が滑り落ちたため、それを止めようとしてバランスを崩し、自分も2階足場まで墜落した。
- 建て方作業現場にて玉掛作業中にパネルラックより転落。
- 躯体工事中、2階床開口部より転落し右足踵を骨折した。
- 1階建方作業の梁組み立て作業中に、1階梁の上で作業をしていて、吊り上げていた梁にぶつかり、バランスを崩して1階剛床まで転落。
- 建方作業中、作業床2層目にて、桁帯合板を釘打ちするために右側に移動しようと足を踏み出したところ、作業床がなくそのまま地面へ墜落。
- 建物内部作業中、脚立にまたがり、吊り天井下地を施工しようと、仮止めビスを外した際に、予想より勢いよく天井下地が外れ、勢いで脚立から床に転落。
- 建方作業中、昇降階段を降りていた際に昇降階段の下段部分に左足を掛けたところ、昇降階段が外れ転落。
- 建物外部作業中、玄関前で6尺脚立の上から2段目に立ち胴縁の釘をバールで抜こうと力を入れた際、バランスを崩し脚立から転落。
- 清掃作業中、リビングの吹き抜け部の窓を梯子の9段目に上り拭いていたところ、梯子が横に滑り、床まで転落。
- 建方屋根仕舞作業中、屋根上にて移動しながら水上破風に釘打ち機で釘を打っていた際、段差に気付かず下の屋根上へ転落。
- 外壁タイル施工作业中、玄関前で脚立を登っている際にバランスを崩して転落。
- 建物外部作業中、足場作業床4層目を移動している際、足場作業床に乗った瞬間に作業床が外れ、足場作業床3層目へ転落。
- 建物外部作業中、屋根施工をしている際に、大屋根軒先から足を滑らせ墜落。
(墜落時、目撃者がなく被災者も覚えていない為推測)
- 建物内部作業中、脚立足場板の上に登り天井点検口を手のこを使って開口していた時、バランスを崩し転落。
- 建方作業中、屋根パネル上から母屋に打ち付けたビスを釘抜き付玄翁で引っ張り、母屋を引き寄せようとしたところ、ビスが抜けてバランスを崩し、屋根パネルから約1m下の天井パネルに転落。
- 清掃作業中、リビングの吹き抜け部の窓を拭こうと、梯子をのぼっていたところ、9段目地点で梯子の足が滑り梯子が床まで転倒。倒れた梯子の上に転落。
- 建方時、床パネル間配り中、内部仮設昇降階段から転落。
- 前工程で盛替えした足場（第3床）に移動した際、作業床ごと墜落。
- 型枠解体中、通路を移動していた被災者がつまづき転落。

- 養生材を持って通行中に吹抜け階段の開口部より転落。
- 建方時、6尺脚立から降りる際にバランスを崩し転倒、梁で右脇腹を強打
- 片付け及び養生時に2階吹抜け開口部から落下、転落、腰を強打。
- キッチン換気扇フード廻りシーリング施工完了後、3尺脚立より転倒。
- 仮床の受け材が外れ2階から1階へ転落。
- 仮囲い作成中、バランスを崩して墜転落。左膝横を裂傷。
- 屋根材撤去のために足場組立後、シートを張る作業中、足場から落下、右手首骨折。
- 建方時、梁の上を移動中、バランスを崩しネットの上に落下。
- 柱梁金物を締め付けている時にナットから工具が外れてバランスを崩し脚立から落下。床に手を着いた際に右手の親指打撲と小指を骨折。
- 2階床根太作業中意識を失い1階床に落下。脳に異常は無いがろっ骨を骨折。
- 小屋裏収納の作業中階段を踏み外し2階床に落下。左足腔部骨折で緊急手術。
- トラック荷台から降りた際、バランスを崩して右手を着いて着地した。右足踵粉碎骨折と右手首のひび割れ骨折の診断。
- 荷揚げ用の梯子の途中で足場の単管に頭をぶつけ、ずり落ちながら落下。救急車にて搬送される。
- 被災者がステップ階段に仮置きした木材に気が付かず降りてきたため踏んでしまい板がずれ階段5段目辺りから落下。右足親指の骨折で手術を受ける。
- 小屋裏防水シートの施工中、6尺脚立から降りるときに服が引っ掛かり脚立ごと落下。右足踵を骨折し手術を受けた。
- 内部梯子より降りる際に梯子脚部が滑り転落。
- 2階建物内部より外部の足場へ移動時にバランスを崩し転落。
- 脚立よりバランスを崩し転倒。
- クロス貼り替え作業中に脚立よりバランスを崩し転倒。
- 外壁施工中に脚立より転倒。
- 玄関周りボード施工中に3尺脚立より足を滑らせ転倒。
- 階段室の石膏ボード貼り作業中に階段開口部より墜転落。
- 窓枠施工およびボード作業中に脚立から転落。
- 足場を歩行中に足を滑らせ転落。
- 上棟作業中、梁を掛けた直後に脚立から転落。
- 足場組立中に一層目より足を滑らせ転落。
- 上棟作業で足場にかけた釘打ち機を取る際にアンチ(踏板)より1階に転落。
- 階段室のボード張り作業中に6尺脚立より転倒。

- 先行足場架設中、部材をトラックの荷台から降ろす作業をしていたところ、誤って地面に墜落した。
- 2階階段室の仮床に乗ってフロアの差し上げ作業中、仮床の受け材を固定していたビスが折れ、仮床ごと2階から1階へ落ちた。
- 上棟中、2階の梁を架けている際、梁から梁に移動しようとしたところ、足を滑らせ1階に墜落し左足小指を骨折した。
- 仮設階段に乗って階段開口部の石膏ボードの施工中、足を滑らせてしまい2階仮床に落ちたところ、仮床が外れ1階へ墜落し足を骨折した。
- 上棟作業中、未固定の仮設階段を使って2階から降りたところ、仮設階段が滑りそのまま階段と一緒に1階へ墜落した。
- 脚立に乗ってクロスを貼っていたところ、脚立がぐらついていたのでバランスを崩し飛び降りた為、足を骨折した。
- トラックに産廃を積み込んでいる際、脚立から転落し頭部を負傷した。
- 6尺の脚立を使用して階段を掛けていたところ、2階からその脚立を使って降りた際、足を滑らせ右腹部を脚立天板に強打した。
- 上棟中、2階の甲乙梁を配ろうと梁の上を歩いていたところ、踏み外しガレージに墜落した。
- 上棟作業中足元が滑り持っていた梁を左足親指の上に落してしまい骨折。
- 野地裏の抜釘チェック中2階 UB 開口部より転落。
- 脚立からの落下。左ひじ骨折。
- 脚立からの落下。右腓骨頸部剥離骨折。
- 足場から梁に移動するために親綱に安全帯をかける際にバランスを崩し、落下。
- 上棟での柱を差し上げ時、2階の受け取り側が柱を落とし、1階差し上げ側の顔に落下。鼻骨骨折。
- 高天井で壁の断熱材施工中、誤って脚立から転落。右足踵骨折。
- 先行足場組立て中、安全帯を掛け替える際、誤って3層目より転落。
- 2階開口部（階段部）でアルミ製の歩み板2枚を橋渡し、外周内壁部分の断熱材を施工中、バランスを崩し1階へ転落。
- 天井ボード張り作業にて3尺脚立に乗り作業中、降りようとした際、前向きおりた為、段を踏み外して左手から落下。
- 上棟作業中、棟上げ完了後の金物取付の際、小屋組上を移動中に足を滑らせ、土台・大引上に落下、左大腿部、左脛、左肩を打撲した。
- リフトに同乗し足場に接触、落下し背骨・肋骨を骨折。
- 脚立から降りる際、滑り落ち膝・腰を傷める。
- 上棟時にカケヤで梁の落とし込み中、小口が欠けて転落し手首骨折・膝股関節

打撲。

- 脚立から降りる際、滑り落ち脛骨を骨折。
- 脚立作業中落下し肩の脱臼及び、脛骨裂傷。
- 棟の垂木を施工中、梁から床に転落し肩関節を脱臼。
- 脚立に乗り釘打ち作業中材が割れ体勢を崩し落下、両足首捻挫。
- 上下で床版を荷揚げ中、上部の作業員が掴めず落下し、指に当たり骨折。
- 2階作業中に、バランスを崩し開口部から1階床へ転落。
- 階段室天井石膏ボード施工中に、バランスを崩し転落。
- 足場から脚立に移ろうとし、脚立が倒れ、左足から転倒し、靭帯損傷。
- 小屋桁から梁への移動中に足をすべらせ転倒。間柱に手を強打し、骨折。
- 外装下地作業中に足場より落下。
- 建物から足場に移動時に、足を滑らせ足場から落下。
- 足場の昇降中に足場から落下。
- 跨っていた脚立からバランスを崩し、脚立と共に開口部より階下に落下。
- 屋根ルーフィング貼りのため、2階屋根から軒先へ移動中、足を滑らせ1階屋根に落下した（右上腕骨近位端骨折）
- 脚立を使用せず、バルコニー腰壁に乗り防水テープを貼ろうとしてバルコニー床へ転落、腰を強打した。
- バランスを崩し、落下の際つかまろうとして手を引っ掛け負傷。
- 脚立より下りようとして、バランスを崩し落下した時両手をつき負傷。
- 外部足場への移動中、体勢を崩しふくらはぎを打ち負傷。
- 未固定の垂木に乗ったため2階に転落して負傷。
- トラック上で同僚と荷を積載中に、荷が不意に移動した為被災者の体勢が不安定になり、トラック荷台から落下し左膝を損傷した。
- クリーニング作業中、脚立より降りる際踏み外し転倒。手首の捻挫。
- カーポート設置作業中、8尺脚立最上段より転落。左半身打撲、肋骨骨折。
- タイル資材を下屋根に置こうとした際、足場から足を踏み外し転落。
- 2階足場で軒裏塗装をするためのパテ処理をしながら横向きで足場を移動、足場のない所から1.5m落下。
- 2階への納材を終えて2階から梯子を降りようとした時に、足を滑らせて下の階へ転落。
- 2階床桁から1階へ転落。
- 勝手口台のモルタル仕上げ工事中に、境界までが狭く足を踏み外し擁壁天端より下の売り土地へ転落。
- 足場を降りようと縦地に足を掛け転落した。
- 2階桁組作業中、バランスをくずし、2階床へジャンプする。その際、足指

の損傷。

- 屋根工事において作業員が開口部から転落、腰椎を骨折。
- 2階小屋梁に羽子板を施工する際、金物未施工の片側挿込みほぞの梁に体重をかけて乗り、仮打ち釘・ほぞが外れて地上まで落下した。
- 壁面パテ作業中に内部足場上でバランスを崩し、足場と壁面の間（約30cm）より落下。左肩を強打し鎖骨第二腰椎圧迫骨折。
- 力板の上に間柱を積上げただけの不安定な足場で柱頭金物を取り付けていたところ、バランスを崩し落下。不意に突いた右手を、右第一中手骨骨折。
- 玄関吹き抜け上部の窓を、梯子を使い拭き取り清掃中、バランスを崩し墜落した。右かかと、左足甲、脊椎圧迫の骨折をした。
- 6尺脚立を使い2階勾配天井の野縁墨出しをしていたところ、バランスを崩し脚立から転落。尾てい骨を骨折、背中打撲をした。
- 安全ネット未設置で手起こし上棟中。2階梁組の上に座り1階から梁を受ける際、バランスを崩し、土間に墜落して膝を打撲。
- 上棟作業中に階段廻りの床開口部から転落した。
- バルコニー下の軒天を施工する際にバランスを崩し脚立から転落した。
- 玄関上部の下屋の野地板の施工中に足場と屋根との開口部より落下した。
- 足場を移動中、隙間から墜転落。
- 建て方作業中、2階床合板の施工運搬中、階段吹き抜け部分より転落し右肩甲骨を1階の仮筋違いに強打。
- 組み立て作業中、壁パネルの上に足を掛けバランスを崩し転落した。
- 平屋倉庫解体中、屋根材（トタン）踏み抜き落下。
- 屋根枝工事中に右足を滑らせ足を切傷した。
- リフォーム工事現場においてユニットバス入口部の木枠を作っている際、高さ60cmの脚立足場に登り作業しようとした際、誤ってバランスをくずして転倒して負傷した。
- バルコニーの手すり、外壁修繕工事に際し、バルコニーにかけた梯子を登っている時に足を踏み外し、およそ1.5m下に転落し、胸部を打った。
- 斜天井に断熱材吹き込み中に脚立からバランスを崩し床へ転落。
- 建て方作業中、梯子兼用脚立の誤った使用で登った際に梯子が破損し1階床へ転落。
- 建て方作業時、階段開口部で荷下ろし中、気を取られ1階床へ転落。
- 記載なし

災害分類<切れ・こすれ>の発生状況

- 石膏ボードをカッターで切る作業。刃が折れた勢いで自分の指に切傷。

- 内装大工がスクレーパーの刃の交換時に左人差し指を挫創した。
- 大工職が間仕切りスタッドの搬入作業中に、階段の曲がりバランスを崩し2階床に手をついたところ、手の上にスタッドが載ってきた。
- 解体工がレシプロソー（電動ノコ）のブレードを取りかえる際、誤ってスイッチに触れてしまい、ブレードが動き左手親指を裂傷した。
- 基礎工が基礎周りで型枠を運搬中に、足が滑りバランスを崩し型枠に手をつけて切った。
- 大工職が界壁ボードを持ち移動した際、支えていた右手がL鉄板に当たり右手甲を裂傷した。
- 外構工がウッドデッキの床材を加工する際、一輪車を2台並べて作業台として丸のこで切断しようとした。切断片に添えていた補助者の手が丸のこの刃に接触した。
- 建方が、架台プレートと複合軸を止めているボルトを外そうとし、共廻りを防ぐために、左手を裏に当てがったところ留め金具が破断し左手薬指を切創した。
- クロス職が、クロス施工中に継ぎ目の下敷テープをはがす際、左手に持っていたカッターの刃に右手小指が接触した。
- 搬入工が鋼製スタットを2階へ搬入中に、2階の荷揚げ工が準備できていない状態でスタッド3本を持ち上げ、2階の荷揚げ工を待っている間に手を滑らせ右上腕部を裂傷した。
- 大工が石膏ボード端材をカッターナイフで細かく切断中に、定規を超えて左手にカッターナイフが接触した。
- 内装工が、釘打ち機の出が悪くなり口金を触って確認している際、配管につまづいてバランスを崩した拍子にトリガーに触れ誤って右の手に釘を打ってしまった。
- 大工が大引・床パネル敷き施工中に、カッターで左手甲を切創した。
- 解体工が一人でカーポートの鉄骨の切断作業中に、エンジンカッターを右足甲に当ててしまった。
- 大工が階段親柱加工中に押切り（卓上丸ノコ）にて左人差し指を裂傷した。
- 建方が野地板をクレーンで取付場所へ移動中に野地板で裂傷した。
- タイル工が、モルタルミキサーの取り出し口に付着したモルタルを取り出そうとした際に、回転翼に左手人差し指が触れ切創した。
- 給排水工が屋外にてスコップで既存土埋め戻し中に、左手にスコップの先端が当たり爪を裂傷した。
- 素手で内壁ランナーを移動中に、手から滑りだし左手を切創した。
- 左官工が、1階バルコニー部にて1人で雨水配管立ち上り部の高さ調整の為、

- サンダーを使用して切断中に、サンダーがキックバックした。
- 集合住宅住戸内洗面室で、床下点検口枠の下地材を釘打ち機で取付け中、釘の連結ワイヤー片が目に入り被災した。
 - 擁壁施工部位に侵入している隣地樹木の根を、ベビーサンダーにチップソーを付け切断中、誤って自分の大腿部を切った。
 - 外部足場の1層目にて胴差面材を持って移動中、足場コーナー部で体勢を崩し、両手で抱えていた胴差面材で右上腕部を切った。
 - 2階床パネル敷き込み中、吊り金物で外そうと一度敷き込んだ床パネルを指先で浮かせ、金物を外し再度床パネルを落とし込む際、指先を切る。
 - 小径樹の立ち上がり部を、耐圧防護ふたの台座レベルで切断しようと、ベビーサンダーを使用していて、誤って刃が指に接触し切った。
 - 解体現場でローリングタワーに乗り、エントランスのキャノピー部鉄骨を切断中、切断の振動等により、その他の場所のモルタルが剥離落下し作業員に当たった。
 - 集合住宅2階住戸内で、撤去する床養生材（プラ段）をカッターナイフで切断中、床養生材の固定状況が悪く、誤ってカッターナイフで左手親指人差し指を切った。
 - 出来上がった基礎の鉄筋にスリーブを入れる為、ベビーサンダーで鉄筋の一部を切断中、鉄筋が切れた勢いでベビーサンダーの刃が膝付近に接触し切った。
 - 2階建て住宅の外部足場3層目で、軒天下地棧を丸鋸で切断加工中、作業姿勢・固定状況が悪く、誤って棧木を持っている左手を切った。
 - 解体現場の玄関内部に置いていた親綱を取りに移動中、玄関前に置かれていた廃棄物を入れたフレコンバックから出ていたガラス片に接触し切傷を負う。
 - 工場資材搬入車輛の荷台の作業員から、地上の被災者と共同作業業者の2名で軽鉄スタッド材を受け取った瞬間、手元を滑らせ軽鉄小口で手首を切った。
 - 床パネルを釘打ち機で釘打ち中、屈んだ姿勢から立上った時、釘打ち機の先端が膝に当たり、トリガーに指を掛けていたため釘が発射され刺さった。
 - 作業台で丸ノコを用い床材をコの字に加工中、丸ノコを右手で操作し左手で支えた時、左手の中指の爪に刃が当たった。
 - 軒天下地を釘打ち機で釘打ち中、休憩の声が掛ったため釘打ち機を振り下ろした時、釘打ち機の先端が腿に当たり、トリガーに指を掛けていたため釘が発射され刺さった。
 - 組立の釘締め中、入隅の釘を打つために座った時、トリガーに指を掛けてい

たため、誤射して腿に刺さった。

- キッチン天板の取付中、天板と本体に間に木端を挟みL字金物を取付けている時、天板がずれ落ち、咄嗟にシンクをつかみ、手を切った。
- カッターでクレガーレ（バルコニータイル）のバリ取り中に、刃先に置いた人差し指を裂傷した。
- 丸のこで手に持ったベニアを切断中、キックバックして手を裂傷した。
- 丸ノコで脚立上に置いたベニアを切断中にキックバックして指を切傷した。
- 屋内階段を移動中、バランスを崩し軽鉄の間柱をつかんだ際に階段手摺の補強用鉄板で右手小指を切傷した。
- 荷上げ作業中、石膏ボードを背中に担いだ状態で踊場で回転した際、立てかけてあった軽鉄スタッド束に石膏ボードがぶつかり倒れ、近くにいた被災者に軽鉄が接触し、鼻の下を 1.5 cm 切傷した。
- プレキャスト基礎梁製造中、型枠が倒れてきて左膝の上が切れた。
- 廃材の袋詰め中、釘を踏み抜いた。
- 台上で櫃を加工中、丸のこが滑り押えていた左手に当たり、裂傷及び骨折。
- 足場解体中に落下した単管を掴もうとして裂傷。
- 解体工事で窓ガラスを運搬作業中、ガラスが割れて右大腿に接触し裂傷。
- 一度張った役物タイルを取り替えようとした際、タイルの切り口で手首を切った。
- 2階床ころび止めの釘打ち中に、釘の連結ワイヤーが目に刺さった。
- 仮置きした作業床を据え直そうとした際、隣の職方にハンマーで指を叩かれた。
- 外壁胴縁木材の切断作業時、電動丸鋸による右手の平から手首切創。
- 造作中、木材のバリを取るためカッターを使用した際に、左手と左脛を切ってしまった。
- 下地材を丸鋸で切断中、刃が跳ね返り、指が巻き込まれ切断。
- パネル組立作業台上で高圧釘打機使用時、押さえていた左手を刺した。
- 外構工事の際、別作業員のツルハシが頭部に接触挫創。
- 建物内部工事作業中、釘打機を使用し1階内部間仕切りの目線の高さの耐力壁に打ち込んだところ、ロール釘のワイヤー約 8mm が飛散し、左目に刺さった。
- 建物内部作業中、丸鋸を使用しボードをカットした時に、ボード下の下敷きがずれ落ちた拍子にバランスを崩し、丸鋸進行方向に添えていた左手人差し指を切り落とした。
- 建方作業中、バルコニーにて釘打機を使用し作業していたところ、桁上養生のブルーシートが風で被さって来た為、左手で養生シートを払い除けた際に

左手甲が釘打機先端に接触し釘が発射。

- 建物内部作業中、2階洋室でユニットクローゼットの上部マグサを作成している際、釘打ち機で左手親指を打ってしまった。
- 建方作業中、壁パネルの建枠を釘打ち機で固定している際、枠際に射出口があたり、釘がはじいて右手中指に刺さった。
- 建物外部作業中、足場上で、釘打ち機を使用し破風板を取り付けようとしたところ、堅い部分（何か不明）にN75釘が跳ね返り、右目に当たった。
- サッシ追加工事中、丸鋸で胴縁を切っていたところ、左手人差し指を切傷。
- 天井地下補強作業中、釘打ち機で左手親指を誤射。
- グライNDER操作中、左手人差し指を粉碎骨折、中指裂傷。
- 段ボールをカッターナイフで切り開く作業中、右足膝付近を切創する。
- 電動工具にて穴開け作業中、電動コードと手が巻き込まれ、左手創傷。
- 仮囲い組立時、杭打ちのハンマーを打ち損ね右手人差し指負傷。
- ウッドデッキの部材をベビーサンダーで切断中、左足の土踏まずを裂傷。
- 排水パイプを切断中、機械の不具合確認をした所、過って右手薬指を裂傷。
- 釘打ち作業中、しゃがんだまま移動したら誤射してしまい、右足膝上に釘が刺さった。
- 作業中、木製の建方かけやの先端が折れ左頬にあたった。擦り傷、腫れ、内出血。
- 釘打ち作業中保護メガネやシールドをしていなかった為、ロール釘を連結しているワイヤーが右目眼球に刺さった。
- 二人で木杭を打ち込み中、一方が被災者の合図が聞こえずハンマーを振り下ろした。左手第二関節を裂傷と腫れの症状。
- 土嚢袋の砂をハンドミキサーに投入している際に紐が絡まり右手が回転羽に引き込まれた。出血がひどく病院に搬送される。
- 掃き出しサッシの取り付け作業中釘打ち機で左太ももを誤射してしまった。
- ユニットバス天井作業中、脚立に移ろうとした際、脚立の天板の劣化破損部が突き出ていたため右足太もも内側を裂傷した。
- 足場でバランスを崩し左前腕部に釘を誤射。
- 釘打ち機のエアホースが足場に絡まり外す際に右太ももに誤射。
- 合板のささくれが右手のひらより人差し指を貫通。
- 釘打ち機で釘が節に当たり垂木を押さえていた左手に釘が刺さった。
- 釘打ち機で釘を打った際に木材の中で釘が曲がり左手親指に刺さった。
- 卓上丸鋸にて指を裂傷。
- 誤って釘打ち機の射出口へ足が触れ誤射。
- 外部よりサッシ開口中に丸鋸で指を裂傷。

- コンセントBOXを開口中に誤って丸鋸で右手中指裂傷。
- 丸鋸で胴縁切断中に右人差し指の指先5mmを切断。
- 釘をバールで抜いた際、ガスコンセントに手が触れて裂傷。
- 先行足場を架設中、根がらみに足を掛けたところ足を滑らせ、アンカーボルトが太ももに8cm程度刺さった。
- 上棟時、2階梁の釘打ちをしていたところ、釘打ち機で右足親指を打ってしまった。
- 木工事中、釘打ち機を持ちながら、スケールを利用した際、左足に釘を誤射してしまった。
- 石膏ボードの下地をフィニッシュで固定中、下地を押さえていた左手親指に誤射してしまった。
- 丸鋸使用中、袖を巻きこみ左手首の裂傷。腱を損傷したため緊急手術。
- タンパンをカッターで切断中誤って右手親指の裂傷。10針縫合。
- 釘打ち機使用中、飛んだ破片が黒目に当たり網膜接合。
- 作業中グラインダーにはじかれ、左手薬指骨折・右手小指挫傷。
- フロア施工、中誤って左踵にタッカーを打ってしまい自分で抜けず病院にて処置。
- 丸鋸で材料を切っている際、キックバックし左腕を切ってしまった。
- 丸鋸で材料を切っている際、キックバックし右足の親指を切ってしまった。
- 押入用のラワン材を敷居ぴったりにつける為、丸鋸でカット。カット出来なかった箇所をカッターで切った際、勢い余って左親指を切ってしまった
- 通し柱を持ち上げ時、手を滑らせ金物で腕を裂傷。
- 丸鋸を使用中、キックバックし親指を裂傷。
- 柱に金物を取付け中、押さえていた大工の指を叩き骨折。
- 釘打ち機で、耐力面材の施工中に誤って左手に誤射。
- 石膏ボードと火打ち金具に指を挟んだ際に、指を裂傷。
- 釘打ち機のトリガーを握ったまま移動し、左足の甲を打ってしまった。
- クロスを切る際、カッターが定規に乗り上がり、左人差し指を切傷。
- サッシ部材交換時、切欠き加工中にカッターで指を切った。
- 工具に釘が詰まり、取り除く際に釘が発射され左掌を刺傷。
- しゃがんだ際に左膝に誤って釘打ち機で釘を打ってしまった。
- 丸鋸で材料を切断中に材料に弾かれ、誤って内腿を切ってしまった。
- 床下地作業中、連結釘の針金が飛び左目に刺さってしまった。
- 脚立上で体勢の悪い状態で作業し釘打ち機が膝に接触し釘が発射し刺さった。
- 位置出し作業中、バランスを崩しハンマーで手を打ち付け負傷。

- 材料のささくれが手首にささり負傷。
- 木材を斜めに切断加工中、安全カバーが木材に引っ掛かり跳ね、左手中指先端を切った
- 大工技能士の研修に参加、木材刻み加工中にノミがほぞ穴から滑り出た時に左手の甲を切った
- 電動丸鋸にて無理な体制で造作材加工中に誤って左手中指第一関節部切断。
- 板金の切り破片で指を切る。
- 石膏ボードがたわみ、丸鋸がキックバックしたことで、左手親指を切創(腱、神経の断裂)した。
- ジャバラホースが何かに引っ掛かり強く引っ張ったはずみで、作動している状態の丸鋸を右手(被災者は左利き)の方に近づけてしまい人差し指の第一関節上を切断、および中指の第一関節上を不全切断。
- 作業開始前に左官コテをカッターナイフで手入れをしている際、誤って左手人差し指を切創し5針縫う。
- 建具枠の戸当たりをスライド丸鋸でカットした際に、押さえていた左手人差し指を2cm程切傷した。骨には達していなかった。
- 床見切りを交換する際、両方にノミを持ち床見切りの両側から挟み込み剥がそうとしたが、右手の親指と人差し指に当たり切創した。
- 釘打ち作業中にネイルガンを使用し、釘同士を連結しているコイルが飛んで目に刺さった。
- 1階床合板の釘打ち作業中に、釘打ち込み個所に足を出して誤って叩かれた。
- ヌキの釘止め中に誤って釘打機で指をかすめた。

災害分類<車両系建設機械>の発生状況

- 外構工が路盤碎石をレーキで整地中に、碎石を運搬中のバックホウが後方未確認の状態バック移動し、重機のキャタピラに左脚が巻込まれた。
- PCパネル搬入時、部材積み替え中誤って手の上に部材が落下して負傷。
- 重機で解体作業中に操作を誤り、アタッチメント先端が操縦席に当たり、右足骨折。
- 基礎工事中、ユンボの積み込み作業中にブリッジを使用せずにダンプの荷台に直接ユンボを乗せようとし、ユンボを旋回させたところ、バランスが崩れユンボが転倒。
- 採寸作業中、他作業ショベルがベニヤ板を押し、挟まれた右手が圧接打撲。
- トラックでバック中にフェンスとの間に腕を挟まれた。
- 杭打機のドリルとシリンダーに左手人差し指が挟まれた。
- モルタル攪拌中にパワーミキサーのプロペラに触れ切創、骨折。

- 資材搬入時に床と資材の間に指を挟んだ。右手親指骨折。
- 土間一部破砕作業中、切断したコンクリート塊を撤去する時にコンクリート塊とコンボバケットの縁に左手中指先をはさんだ。
- コンボが横転し、作業員が下敷きになり、右足首を骨折。
- オペレーターが機械操作中に作業員が杭に手を掛け、骨折。

災害分類<激突>の発生状況

- 基礎工がトラック荷台から基礎型枠を一人で降ろしている際に、積んでいた型枠を移動させた時に、上部型枠がずれ落ち頭部に当たり、その反動で頭を荷台にぶつけた。
- 卓上スライド丸丸鋸で材料切断後、切断した材料を取ろうと右手を伸ばした際、安全カバーが作動せず、刃に接触し、右前肘挫創（神経損傷あり）。
- 玄関ドア吊り込み後、油圧側のアームが外れドアが鼻にぶつかり鼻骨骨折。
- 内部の金物取付中、立て掛けていた間柱材が倒れてきて背中を強打。

災害分類<激突され>の発生状況

- 解体工事の敷地周辺に設置した仮囲いの解体中、手順を誤り倒れて来た単管で顔面を強打した。
- 移動式クレーンにて工場資材を荷卸し中、誤って荷卸し半径内に入り、吊り荷と接触し被災した。
- 柱状改良杭の打設中、掘削翼・攪拌翼に跳ねられるようにして、埋まっていた鉄管が（何か不明）飛び出し、被災者の足を直撃した。
- ハツリ作業中、階段上からコンプレッサーが落下して激突し転倒。
- 杭打ち作業中、鋼管杭を吊り上げた際にワイヤーがフックから外れ、倒れてきた杭が作業員の足に激突した。
- 建物内部作業中、床貼り作業のため立てかけていた床板が倒れてきた。
- 建て方壁合板釘打ち作業中、釘打ち機が自分の手に当たり（激突され）誤射。

災害分類<飛来落下>の発生状況

- 配筋中、深基礎部の根切り部分で足を滑らせ、鉄筋を足に落とし被災。
- 石膏ボード荷揚げ工が1階の共用部で石膏ボードを仮置き作業中、立て掛けていたボードが倒れ、体で支え切れず手をつき骨折した。
- 大工が木棧を取り付けようとビス固定していたところ、インパクトドライバーのビットがビス頭から逃げてしまい、反動でインパクトドライバーのビットで左目眼球をついた。

- 建方が、荷受けする梁を受けるための誘導中に梁を吊っているフックの一方が外れ被災者の頭に落下した。ヘルメット損傷のみで外傷無し。意識異常なし。
- 大工が一人で界壁ボード貼り作業中に、立て掛けていたボードが倒れ、H鋼柱との間に左手首を挟まれた。
- 建方工が3階床上にて1人で外壁を取付ける為に、外壁を結束していたPPバンドを外した際に荷崩れを起こし、外壁コーナー材が左足の甲に落下した。
- 建方が2階ALC上で外壁を玉掛作業中に、外壁吊り具が外れて外壁が落下。落下後の跳ねあがった外壁が胸に当たった。
- 給排水配管工が排水管の空気圧テストの作業中、テスト写真撮影のため黒板を持ち立ち上っている配管を覆うように立っていたところ、気圧計を設置していた配管蓋が空気圧で勢いよく抜けて左目下付近に当たった。
- 搬入工が、1人でスタッドを仮置き端をそろえようと引っ張った際に、上部のスタッドが落下して右手首を裂傷した。
- クレーンで吊られた小屋梁が玉掛け用クランプから外れ、落下距離1mの高さから被災者の後首部へ落下した。
- 内装大工が2階階段室で作業していたところ、近くの外周壁に立て掛けてあった建具枠が倒れ当たった。
- 組立中、足場上で作業をしている時、クレーンで吊られたパネルが荷崩れし当たった。
- シェルター工事中、トラックから荷下ろしのため外壁パネル6枚を吊り上げ、敷地内に仮置きしようとしたところ、玉掛フックが外れて吊荷が高さ約5mから落下し、被災者に当たり左腕裂傷、骨折。※同時にトラック運転手に跳ねたリン木が右腕に当たり骨折。
- 外壁業者が作業中、地面に放置していた構造用合板が強風で飛来し、作業員の背中に激突した。
- シールドが完全に下がっておらず、釘の連結ワイヤーが釘打ち中に跳ね返り、隙間から目に飛来した
- 屋根材を持ち上げ、誤ってつま先上へ落下。
- 釘打機使用中、ロール釘の連結ワイヤーの破片が飛散しシールド下部から侵入し、左目水晶体に刺さった。
- 建方作業中、一階キッチンの上に乗る、梁受け金物を釘で留めようと玄翁を使用し、手打ちしていたところ釘が跳ね返り目に当たった。
- 建方作業中、一階梁桁を他作業員2名と架け、次の作業に移動したところ、当該梁を受ける仕口が破損し、梁が下にいた被災者の背中に落下。

- 建物内部作業中、コンパネ下地を施工していたところ、コンパネを左足の上に落とした。
- 建物外壁施工中、サイディング板を他の作業員 2 名が荷上げ作業をしていた際に、サイディング板が落下。落ちてくるサイディング板が割れないように被災者が咄嗟に足を出した。
- 建方作業中、クレーンで内壁パネル吊り上げ荷運び中、1 階床から高さ 2.5 m 程の位置で突然荷が床に落下し、倒れたパネルで手を挟んだ。
- 外壁の合板施工中に合板が落下、下にいたサッシ搬入業者を直撃。
- 上棟時に梁が落ち頭部を直撃。
- 既存ブロックが倒れ下敷き。
- 荷揚げ中に床合板が落下し、下にいた警備員の後頭部を直撃。
- 作業台の上で枕棚の梱包をばらしていたところ、梱包から滑り出した枕棚が左足の親指に落ち負傷した。
- 脚立足場上で天井ボードを貼る作業を行っていたところ、手を滑らせ落とした石膏ボードが足に当たり負傷した。
- 室内にて 2 階から 1 階へ材料を降ろしている作業中(2 人で作業中) に、ケイカル板(300×1800) を 1 階で受け取ろうとした被災者が手を滑らせ右足に落とし負傷した。
- サイディング材を作業台に乗せる際、材料が崩れ両足の膝から脛に当たり負傷した。
- 上棟中、3 階柱入れ作業時に、荷揚げ業者が柱を入れるタイミングで被災者が柱のほぞ穴部分に足を置いてしまった為、足の甲に柱がぶつかり負傷した。
- ノボパン(パーティクルボード)を丸鋸で切断中、切りカスが目に入った為、目を擦ってしまい眼球に傷がついた。
- 上棟作業中、1 階で仮床設置の準備をしていたところ、荷揚げ業者が 2 階に仮置きをしていた仮床用の合板が落下し、左頬に直撃した。
- 上棟時、3 階梁組み作業中に誤って梁を落としてしまい、下で作業していた被災者の左手首に当たった。
- 上棟時、3 階足場から不注意と急激な暑さにより開口部へ転落。
- 上棟時、2 階床張り施工中、上にいた作業員の腰に着けていたインパクトドライバーが落下し、下にいた人の耳に当たり損傷。
- 足場解体作業で荷降ろし中の部材が落下し、被災者の左手に落下。
- 耐力面材の間配り中に誤って足に落下させ被災。
- 荷揚げ作業中、2 階仮設床が荷の重さに耐えられず破損し 1 階に居た被災者頭上に落下。
- 建て方釘打ち作業中、連結釘のワイヤーが左眼球に飛来し刺さる。

災害分類<転倒>の発生状況

- 4尺脚立から降りようとしたとき、下した足が1段前の棧を踏み外し転倒。
- 屋外配管中。重機が傾き重機から飛び降り被災。
- 検査作業員が2階室内床で、上階梁のボルトチェック検査作業中、上を向き後ずさり移動したところ、足元のりん木に躓き転倒した。
- 基礎工が基礎型枠上部から飛び降り、着地したところに石があり左足が石につまづき左足首をひねった。
- 大工が端材を入れた箱を一人で運搬中に、内部階段を降り切ったところで左足を捻り、踝を床に打ち付け骨折した。
- 大工が共用階段施工の為、2階から1階へ資材を持って移動中に階段を踏み外して転倒した。
- 大工が1階土間上で床パネルを施工中、大引きを跨いだ際に間仕切基礎の角に足が乗り、左足を捻った。
- 荷揚げ工が内装材荷受け搬入中、内装材を背負いながら運搬中に足を滑らせ転倒した。
- 基礎職が施工写真撮影時に、撮影の為に掘った穴に足がはまり置いてあった工具の柄部分に首が当たり動脈を損傷した。
- 建方が玉掛けの際に、上空より降りてくるクレーン車の軸吊金具に気を取られ、足元の間仕切り基礎でバランスを崩し転倒した。
- 大工が石膏ボードを運搬中に、通路脇にあったボード定規に靴紐がからみ転倒した。
- 給排水工が先行配管の為、基礎を跨ぎ内部へ入ろうとしたところ、基礎に片方の足が引掛り転倒した。
- 水道職方が、屋外給排水工事で移動中、養生シート下の土の段差に気がつかず左足首をひねり骨折した。
- 外装1便入荷作業中に、間仕切り基礎を跨いだ際に躓き転倒した。
- 集合住宅現場の先行足場組立で、足場資材を基礎周辺に間配り中、前日の雨で濡れた土間に足を滑らせ転倒した。
- 住宅現場の先行足場組立で足場資材を運搬中、玄関土間部から内部土間への段差約40cmを降りた際、足首を捻挫した。
- 外構工事における駐車場アプローチで平板(300mm角)を2枚運搬中、誤って通路の段差に躓き転倒し、平板を持った手を土間との間に挟み被災した。
- 昼休み休憩の為、足場の昇降設備を下降中、段板から足を滑らせ転落する間に、ビス打ち機を持った手の小指を足場支柱にぶつけた。

- 集合基礎工事現場で型枠を跨ぎ移動中、足元確認が不十分であった為、着地の際誤って足首を捻り骨折した。
- 作業準備のため玄関に入った時、土間に敷いてあった養生シートがズレ足を滑らせ転んだ。
- 天井石膏ボードを施工中、馬足場から降りようした際、トイレの排水管の立ち上がりに足をとられ転倒。
- 玄関出入口を通行の際、タイル見切りを押さえる為のあて木に左足を取られ転倒し、左手小指骨折。
- シェルター工事中、作業者が外装材 900 mm×2500 mmを1名で搬入中、被災者が作業を手伝い、後ろ向きになって運んでいる際に玄関土間部の枠部分段差で躓き転倒し、背中を強く打ち、胸椎圧迫骨折。
- 基礎型枠組立工事中、基礎鉄筋上を両手に型枠をもって移動していた際、アンカーベースプレートの穴(直径約 17 cm)に足が落ち、脛付近を強打し、左足脛筋肉損傷(酷い打撲)。
- 足場資材を調達するため現場入場し、一人で資材を持ち出そうとして両手が塞がった状態で転倒し、肋骨骨折・肺挫傷・右血気胸・打撲。
- 現場敷地内を歩行中、転倒し受傷。
- EPS(電気パイプシャフト)配線作業中に開いていた床点検口に足を踏み入れ、右わき腹を開口の縁に強打。
- 内部足場を解体して機材を搬出中、敷いてあった合板を踏んだ際に足をひねった。
- 道具を車に積み込む際、プラシキの上で足を滑らせて靭帯を切った。
- 敷地の清掃中にバランスを崩して足場支柱のコマに左側頭部をぶつけた。
- 縦地のコマに足をかけ玄関土間上の足場床にあった端材をとろうとして踏み外し転倒。
- 2階床根太に躓き転倒。
- 資材搬入中に前方不注意により転倒
- 建物外部作業中、北側の犬走り上を移動している際、犬柱の型枠(木枠)を押さえている木杭に躓き、転倒。
- 外壁サイディング張り作業中、玄関上の屋根上で、外壁材を作業場所へ配った後、足場2層目へ移動しようとしたところ、雨で屋根が濡れており転倒。
- 建物外部工事中、材料置き場付近にて、板金材の下部に入り込んだ防虫網を取り出そうとした際に、足元の石で躓き、バランスを崩した際に、手をついた位置に釘が上を向いた状態の栈木があった。
- 基礎工事の型枠解体後、清掃作業中に後ろに下がった際、基礎の立ち上がりに躓いて尻もちをついた際、アンカーボルトが臀部に刺さった。

- 床材搬入時に、トラックが来たタイミングで敷地内から車を道路に止め、配達乗務員を呼びに行こうとして凍結した道路で転倒。
- 基礎を跨いだ時ズボンが引っ掛かり転倒。右脚内太腿にアンカーボルトが刺さり裂傷。
- 安全ネット取り外し作業中、脚立に足を掛けたところ滑り、態勢を崩し転倒。
- 親綱張り作業中に鉄筋と鉄筋の間に足が落ちバランスを崩し転倒。
- 上棟作業中にベランダと足場の間へ足を踏み外し転倒。
- ロープに足が絡まり前方へ転倒。
- 上棟中、ノボパン（パーティクルボード）を現場内に運んでいた時、滑り転倒し、持っていたノボパンで手を負傷した。
- 上棟中、ノボパン搬入作業時、対向車が来た為、警備員の誘導で搬入車両をバックさせたところ、バックから停止した際に荷台からノボパン6枚程が警備員の足元に滑り落ち、避けようとして転倒した。
- 鉄筋(約10kg)を持って高さ60cm程度の型枠を乗り越えようとしたところ、態勢を崩し型枠や栈木に脛をぶつけ裂傷した。
- クリーニング中、養生材を外に出す作業をしていたところ、階段で滑り転倒し足首を捻った。
- 天井下地施工中、脚立から降りる際、足元に置いていた材料に左足の半分だけが乗ってしまい、足首を捻った。
- 屋外での打合せ中に熱中症で転倒。骨折。
- 解体作業中に取り外した材料を運んでいる際、地面に敷いてあったゴムマットの段差で足を滑らせ転倒、左手を地面に打ち付け左手親指を脱臼した。
- 足元のくぼみに気付かず、転倒。右足を剥離骨折。
- 靴底に付着していた雪で足を滑らせ転倒。
- 2階で梁を間配りしている際に転倒し、運んでいた梁材と床板に左親指が挟まり骨折した。
- 鋼製野縁の荷揚げの為、吹き抜け仮床ベニヤを剥がした際に、足を踏み外し転倒。根太に強打し、左太もも打撲。
- 化粧破風のタッチアップ中、足場からバルコニーへ移る際にバランスを崩し、右肘を化粧破風の角についてしまい、右肘を擦傷した。左手はタッチアップを持っていた。
- 足場1層目から昇降階段を下りている際、地上から2段目のステップで、雨により右足を滑らせ転倒。昇降階段の1、2段目のステップに右腰を強打し、打撲。
- 重機から降りる時、足をすべらせ転倒、腰を打撲。

災害分類＜熱中症＞の発生状況

- 空調設備職方が、建物外部で作業中に急激に気分が悪くなり休憩したが改善せず、救急車にて搬送される。
- 搬入作業が一旦終わり、休憩所に向かう途中で倒れた。
- 水道工が基礎工事先行配管作業中、指や足がつりだした。
- 外部付帯（物置組立）の金物工が、作業終了後、退場しようとした際に気分が悪くなりふらついてしゃがみこんでいるところを現場監督が発見。腕の痙攣、自力歩行できなく病院へ搬送した。
- 水道工が基礎外部配管作業中に、手指、下半身が痙攣し始め、力が入らなくなり病院へ搬送。
- 大工が室内にて主任技能検定訓練終了後、倦怠感を感じて帰宅した。その後も倦怠感が治まらず病院へ行った。
- 外装職が、荷受け作業中に手足の痙攣を訴えた。現場事務所にて冷却材等で身体を冷やし様子を見たが痙攣が治まらなかった為、救急車で搬送した。
- 15 時前に指がひきつる症状があったものの作業を続けた。15 時になり休憩をとったが全身がひきつりだした。しばらく休憩し症状が和らいできたが、施工管理者が病院に連れいて行った。
- 給排水工が屋内給排水工事のゴミ片付け等を行った後、昼休憩後の 13：00 に頭痛と手のしびれを職長へ報告。現場事務所での休憩したが、回復しない為、病院へ行った。
- 足場工の職長が 11：00 ごろに職方の体調不良に気が付き休憩させる。昼食は体調不良で取れず回復しない為、14：00 ごろ病院で点滴を受けた。
- 基礎工が休憩中に突然意識を失った。
- 当日の資材揚重作業を終え、建物内部で帰宅準備のため着替え中、熱中症を発症。
- 住宅基礎工事現場で、配筋前に型枠を必要個所に間配り中、熱中症を発症。
- 集合住宅の基礎コンクリート打設中、熱中症を発症。
- 住宅の基礎配筋作業中、熱中症を発症。
- 建物エントランス部でインターロッキング下地のコンクリート打設中、熱中症を発症。
- 住宅の屋根葺き工事中、熱中症を発症。
- 建物外周部で雨水配管の調整作業中、熱中症を発症。
- 建物外部炎天下で、エアコン室外機設置作業の補助作業中、熱中症を発症。
- 集合住宅の 2 階梁上で作業中、熱中症を発症。
- 集合住宅の外壁プラスターボード貼り施工中、熱中症を発症。
- 大工工事の合間の休憩中、熱中症を発症。

- 住宅現場の湿式改良杭打設中、熱中症を発症。
- 梅雨明け直後で、前日の暑さで身体が暑さに慣れていない状況で、当日朝から体調がすぐれなかったが、配筋作業の期限が迫っていて無理をしながら、作業を継続してしまった。
- 昼過ぎに体調不良を訴え、現場日陰にて休憩。夕方に具合が悪化し、救急車を手配。
- 左官作業中、熱中症を発症
- 10時の休憩後、作業を始めようとしたが、前のめりに倒れ額を痛打
- 1階床土台敷工事中に手がしびれたため病院へ搬送。
- 体調不良で昼食が摂れないのに午後の作業をし、休憩したが回復せず病院へ。
- 睡眠不足による体調不良のまま、作業中に発症。
- 足場解体作業後、熱中症で意識を失い転倒。後頭部強打し救急搬送される。
- 建方作業中の昼頃体調が優れないので病院へ連れいていった。
- 屋外給排水工事の休憩中意識が遠退いた。119番に通報し救急搬送された。
- 足場作業中体調が悪くなり救急搬送された。症状は冷や汗・手足のつり。
- 基礎作業終了後帰宅時に意識が朦朧とし転倒。救急車で搬送された。
- 基礎の検査時休憩中に意識が朦朧とし倒れた。頭部を打ったため病院へ搬送
- 作業完了後体調が悪くなり救急搬送。脱水症状と筋肉の痙攣の症状の為、入院した。
- 午前8時に建方作業を開始したところ熱中症の症状がみられた。手足の痺れがあったため病院へ連れて行った。
- 外構工事の産廃回収の運転手が回収現場にて熱中症を発症。病院にて受診。
- 熱中症
- 熱中症
- 熱中症
- 熱中症
- 熱中症
- 立ち上がり打設の為、車両誘導をしている際、熱中症になった。
- 炎天下での作業中、熱中症。
- 作業中、気分が悪くなり救急車で搬送。
- 新築工事の棟上げ作業終了前、体調不良のため休憩していたが、体が痙攣したため救急搬送し、熱中症と診断された。当日は35℃を超える猛暑日であった。
- 体調不良により救急搬送。
- 内部作業中に体調を悪くした。

- 救急車で病院に向かい点滴等の処置を受け、土曜日は療養し月曜日から復帰。午前、昼の休憩を取っていたが、昼食はバナナだけであった。
- 荷下ろし作業終了後、車両荷台にて整理を行っていた際に意識が遠き車両荷台より地面に落下。熱中症と診断された。
- 作業終了後の夕方に熱中症となり救急搬送された。

災害分類<その他>の発生状況

- 屋根工が屋根上のウィンチ台横で、一人で太陽光パネル3枚(18kg)を荷卸しようとした際に、無理な中腰姿勢で作業をした為、左脚のふくらはぎを負傷した。
- 建方が玄関ドア付近で片付け中、他の職方が通行する為、玄関ドアを閉めたところ、扉と枠に指を挟まれた。
- 左官・タイル工が重機搬入用の道板をダンプへ積み込む際、荷台より長い道板を持ち上げながら(被災者)後方のあおりを2名で締める作業中、持ち上げていた道板のバランスが崩れ、道板とあおりに指を挟んだ。
- 電気工が重量物(蓄電池60kg)を2人で運搬作業中に腰を痛めた。
- 大工職が床パネル加工中に、電動ドリルで穴開け作業中、電動ドリルの回転力に負け左手首をひねって骨折した。
- 電気工が、現場屋外で引込総合盤の扉(約18kg)を持ち上げた際、ぎっくり腰を発症させた。
- 建方が外装荷受け時にラーメン柱を吊上げる際、柱とリン木の間に指を挟んだ。
- 室内で脚立に載り天井石膏ボード施工中、腰に違和感を感じたので作業を中止し脚立から降りた瞬間、腰に激痛が走りその場に崩れ込んだ。
- 界壁石膏ボードをトラック荷台から建物内へ運搬中、界壁石膏ボードを持った瞬間左上腕部に痛みが走り被災した。
- 建物内部土間コンクリート上で鉄骨材の仕分け中、外壁に立掛けてあった母屋材を誤って倒し、仕分けに集中している被災者に当たった。
- 屋根板金材を成型機で作成中、材料がずれたので停止スイッチを押すと同時に、無意識に材料に手を出してしまい、ローラー部に指を挟まれた。
- ブローイング断熱工事に伴い、トラック荷台に乗せたブローイング吹込み機械の点検中、機械を停止せずに点検していて、誤って回転中のベルトに巻き込まれた。
- 解体現場の内装解体作業中、石膏ボードをめくった廃棄物をフレコンバッグに投入中、フレコンバッグに隠れていた栈木に付いた釘を踏み被災した。

- 建設現場境界部の側溝やり替え工事中、誤って既存側溝の立上り部のコンクリートを崩壊させ、被災者の足を直撃し被災した。
- 当初計画に無い高所作業車を使用した作業を統責者に了解なく、且つ、作業指揮者未選任で作業していて、誤って高所作業車を転倒させ被災した。
- スライド丸鋸を45度に傾け木材を加工し刃を元に戻した時、軍手をしていた手が刃に巻き込まれた。
- 自在キリでサイディングの穴加工中、自在キリが暴れ、手ごとはじかれ、前に積んであったパレットに手が当たった。
- 単管を大ハンマーで打込み中、1.2M後ろに打った単管に大ハンマーの柄が引っ掛かり、柄を握っていた手がズレ、単管と柄の間に親指を挟まれた。
- 立て掛けてあったボードの下にあるエアホースを取るため、二人でボードを傾けた時、ボードが倒れ下敷きになった。
- 石膏ボードを他の部屋に移動中、残っていた6枚が倒れ下敷きとなった。
- 胴差ボルトの締め穴が無いため、電動自在キリで合板穴加工中、キリが芯材に当たり反対方向に回転し、手首をねじった。
- ボード荷揚げ中、立て掛けていたボードが階段から落下し足を挟まれた。
- 外壁材を持ち上げた時、体勢を崩し外壁材と地面の間に右手を挟まれた。
- スライダー撤去作業で、ワイヤーの巻取り時、手を挟まれた。
- ブロック塀撤去で塀下部を切断後に倒れ、地面との間に挟まれた。
- ポンプ車のホッパにゴミを取ろうと手を入れた時、巻き込まれた。
- ダクト取付作業中、ジャバラダクトを引き伸ばした時、右腕筋を断裂。
- 杭打設作業中、5mの杭材を建てこむ際に、振れ止めと杭材の間に左手の薬指を挟まれ、裂傷および第一関節の粉碎骨折。
- 解体撤去完了後、既存杭の確認の為、幅約1.5m、深さ約3.5mの掘削面で作業中、側面の幅約1mが崩壊し、作業員2名が埋まった。
- 棚の上部約2.5mの高さに貼ってある養生テープを、飛び跳ねて取ろうとした際に、汗が目に入り見えなくなり、天井に右手親指を強くぶつけ、右手親指骨折。
- (メンテナンス) 屋根・外壁塗装工事で感電。
- 解体工事中に倒壊したブロックに挟まれ受傷。
- 玄関ホール改装工事中、土台と框の間に左手薬指を挟んでしまい負傷。
- 帰宅途中の交通事故により、肺座礁、胸部打撲傷。
- 片付中、スライド丸鋸を持ち上げた時、スライド部分が勢いよく動き、指を挟み、骨折。
- 物入内部の枕棚の墨出し時、カルコが抜け、右目に刺さった。

- 建て方工事中先行足場の建地と高圧線が接触していて防護管に手が触れ感電した。
- パネルの吊りワイヤーが釘に引っかかったため解こうとして指を巻き込まれた。
- 床下点検口を施工中、材料の固定時に脛に釘を打ってしまった。
- 2F 床組み時に脛に釘を打ってしまった。
- 建て方作業中に、ラックを吊上げ移動時に左手を壁にはさんでしまった。
- 建て方中、床パネル材を吊込み敷込み作業中、吊り荷材を降ろした際に、自分の足（親指）を挟み、骨折。
- 足場組立の資材の荷下ろし中、路面に停車したトラックの荷台に積まれた足場の支柱と足場作業床 20 本 1 セットの番線を外したところ、荷が崩れ被災者側に落下。
- 基礎工事中玄関ポーチ型枠準備の為、ブルーシートを畳もうと一時的に木製の型枠を仮設トイレに立て掛けたところ、突風が吹き立て掛けてあった型枠がしゃがんで作業をしていた被災者の左肩に直撃。
- 建方作業中、2 階壁パネルを設置する際、固定が終わり、一步下がった先に引き寄せ金物があり、それを踏んでしまった。
- 基礎工事中に停めてあったトラックの横で倒れている被災者を通行人が発見、作業員に通報。その後、救急車で搬送。（被災者は事故発生時の記憶がなく、事故要因不明。）
- 基礎工事作業中、立ち上がりコンクリート打設後ミキサー車のシュートをしまう際に、格納するためのフックに左手中指が挟まった。
- 土台施工中、雨が降ってきた為、ブルーシート養生を行い、玄関ポーチ 2 段目から GL に降りる際に、養生ブルーシートの下にあった雨水桝の上に右足を乗せてしまい、バランスを崩して捻った。
- 仮設電気引き込み作業中、ポールを立てる穴をポストホールディガーで掘っている際、地面が固く、柄を握っていた手が滑り勢い余って柄端部が顔面を直撃。
- 建方作業中、2 階床パネルを設置する際に、1 階で脚立に乗り、頭つなぎの上に右手を置き左手で安全ネットを外す作業をしていたところ、クレーンで 2 階床パネルが下ろされ指を挟んだ。
- 解体 2 期工事現場で大谷石を移動作業中に左手中指を挟んだ。
- 搬送時にタイルで右手を挟んだ。
- 解体工事中、波板で左手付け根を裂傷、左手親指腱と一部感覚神経切断。
- 養生鉄板を二人で荷台に乗せようとした所、被災者の左手親指が鉄板の下敷きになった。左手親指骨折。

- 玄関ポーチから足ふきマットに降りた際、マット下の凹みにはまり、転倒はまぬ逃れたものの足の靭帯を負傷。
- モルタル壁下地パネル施工中、65 釘が跳ね上がり右脛に当たった。2 週間後視界が霞む症状が出たので眼科に受診。網膜剥離の診断で入院し手術を受ける。
- 天井の石膏ボード張りの際、ボードの粉が落ちてきて目に入った。
- 天井下地施工中にシーリングライト用電線穴をキリで開けた所、木片が目に入った。
- 上棟作業中、足場 2 階部分に乗り外周面のノボバン（パーティクルボード）を上で押さえ、下から釘打ち機で別の人に留め付けてもらった。下の人の釘打ち機のホースが、別の人のホースに引っ張られ、上で押さえていた人の左足へ釘が刺さった。
- 小屋裏にて間柱（下地材）を入れる作業中、材料をまたいだ時、外してあった部材が上を向いていた為、打ち付けてあった釘を踏み、左足裏を負傷（刺し傷）した。
- 大引を移動中に、右足親指に落としてしまい骨折。
- 作業中に横移動した際に左足膝をひねり捻挫してしまった。
- エアネイラーで釘打ち中、下地の節が割れて飛んできて目を負傷。
- 荷台から資材を取り出すとき、手が滑り足の上に落とし負傷した。
- 材料運搬中に肩が痛くなった。
- 建て方の際、2 階柱建ての作業中室内の階段を 1 段踏み外し腰痛（ヘルニア）発症。
- 電動キリで穴あけ作業中に反動で手首を捻り骨折した。
- 作業通路にて会話中に突然意識を失い前方へ倒れた。

会 社 名

ご担当者名

T E L

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、3階建以下の戸建住宅・集合住宅工事において発生した災害（通勤災害を除く）で休業1日以上のものについて、ご報告ください。

貴社が、以下A～Fの団体に複数加入されている場合、夫々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々の団体に提出することはかまいません。）

②労働災害発生件数が0件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。

（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）

以下1～4の各質問にご回答ください。

1. 貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに○印を）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

2. 当報告書の提出先団体（該当団体1つに○印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

3. まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を○で囲んで下さい。）

工法記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト・チ)

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他(混構造等)

貴社の令和2年1月～令和2年12月の工事棟数
(工法別)

工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	ホイ ・ ・ 新築工事 年間 完工棟数	棟
	工 ・ ・ 増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	・ ・ 解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和2年1月～令和2年12月の工事棟数
(工法別)

工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	ホイ ・ ・ 新築工事 年間 完工棟数	棟
	工 ・ ・ 増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	・ ・ 解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和2年1月～令和2年12月の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

貴社の令和2年1月～令和2年12月の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

- ・労働災害年間発生件数無しの時は0件とご記入ください。
- ・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

4. 労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）

*別紙の労働災害年間総発生件数内訳(休業1日以上)報告書に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。

*工法ごとに集計している場合は、1工法1用紙にご記入下さい。

*別添の「労働災害分類番号一覧表」ならびに 報告用紙No.2に記載した記入例を参照してご記入ください。

以 上

令和2年1月～令和2年12月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅 No.2
労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）報告書

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに○を付けて下さい。

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他(混構造等)

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
1	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
2	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
3	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
4	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
5	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													

※記入例

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
記入例 ①	6・19	木	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		○				
	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況: 外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。														
記入例 ②	7・25	金	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3		○				
	災害分類: 80. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		壁転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
プライヤーで指を潰す。																	
車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況: 鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまった。														

令和2年1月～令和2年12月分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者（日本人）	2. 労働者（外国人）	3. 中小事業主	4. 一人親方	性別	1. 男	2. 女
-------	-------------	-------------	----------	---------	----	------	------

作業分類	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他(作業を記入)	

職種分類	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎		4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング		11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具		17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督		24. 納材	25. 産廃	26. その他(職種を記入)	

災害分類 (型・起因)	墜転落	11. 屋根	12. 梁		13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立
		17. 脚立足場	18. 車荷台		19. その他(記入してください)			
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機		23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. パール
		27. カッター	28. グラインダー			29. その他(記入してください)		
	車両系建設機械	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)			32. ハンドガイドローラー	33. ランマー	
		34. ユニック車	35. トラック		36. その他(機械名を記入してください)			
	40. 激突							
	50. 激突され							
	60. 飛来落下							
	70. 転倒							
80. 熱中症								
90. その他(型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに入力してください。)								

工法区分	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他(混構造等)

* 型式適合認定工法以外は、イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ニ. 鉄骨在来 ヘ. コンクリート在来 チ. その他(混構造等)の中から選択してください。

工事種別	1. 新築	2. 増改築・リフォーム	3. 解体
------	-------	--------------	-------